

CITIZEN

UWP POS Print SDK

プログラムマニュアル

Ver. 2.00 用

シチズン・システムズ株式会社

更新履歴

年月日	バージョン	履歴
2017/05/22	1. 00	新規作成
2019/05/08	1. 01	・対応機種に CT-S257、CT-S4500 を追加 ・「UTF-8 エンコード文字列の印刷について」を追加
2021/07/28	2. 00	・対応機種に CT-E301、CT-E601、CT-S255-L を追加 ・USB ホスト機能付き I/F とこれに接続されたラインディスプレイおよびバーコードスキャナーに対応 ・SetPrintCompletedTimeout メソッドを追加 ・使用されることのない定数を削除
2023/11/21		プリンター対応モデルに CT-S801III と CT-S851III を追加 (8, 14, 15, 38, 39, 41, 44, 59, 62, 71 頁) ディスプレイ対応モデルに DSP01-LT2/DSP02-LS2 を追加 (17 頁)

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、事前の予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 上記に同意いただけない場合は、本SDKをご使用いただけません。

商標

Microsoft、Windows、Visual Studio、Visual Basic、Visual C#、Visual C++は、米国 Microsoft Corporation(あるいは米国マイクロソフト・コーポレーション)の米国およびその他の国における登録商標です。(Windows の正式名称は Microsoft Windows Operating System です)

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

CITIZEN は、シチズン時計株式会社の登録商標です。

目次

1. はじめに	7
1.1. ドキュメント対象範囲	7
1.2. 動作環境	7
1.3. 対象モデル（プリンター）	8
1.4. プリンター設定	9
1.5. 対象モデル（周辺機器）	17
1.6. インストール手順	18
1.7. 定義方法	21
2. プリンター制御	24
2.1. プログラム構造	24
2.2. 機能一覧	25
2.3. ライブラリインターフェース	27
2.3.1 戻り値	27
2.3.2 コンストラクタ	28
2.3.3 <i>ConnectAsync</i> メソッド	29
2.3.4 <i>DisconnectAsync</i> メソッド	31
2.3.5 <i>SetEncoding</i> メソッド	32
2.3.6 <i>PrinterCheckAsync</i> メソッド	33
2.3.7 <i>Status</i> メソッド	34
2.3.8 <i>PrintTextAsync</i> メソッド	36
2.3.9 <i>PrintBitmapAsync</i> メソッド	37
2.3.10 <i>PrintNVBitmapAsync</i> メソッド	39
2.3.11 <i>PrintBarCodeAsync</i> メソッド	40
2.3.12 <i>PrintPDF417Async</i> メソッド	42
2.3.13 <i>PrintQRCodeAsync</i> メソッド	43
2.3.14 <i>PrintGS1DataBarStackedAsync</i> メソッド	44
2.3.15 <i>CutPaperAsync</i> メソッド	45
2.3.16 <i>UnitFeedAsync</i> メソッド	46
2.3.17 <i>MarkFeedAsync</i> メソッド	47
2.3.18 <i>OpenDrawerAsync</i> メソッド	48
2.3.19 <i>TransactionPrintAsync</i> メソッド	49
2.3.20 <i>RotatePrintAsync</i> メソッド	50
2.3.21 <i>PageModePrintAsync</i> メソッド	51
2.3.22 <i>ClearPrintArea</i> メソッド	53
2.3.23 <i>ClearOutputAsync</i> メソッド	54
2.3.24 <i>PrintDataAsync</i> メソッド	55
2.3.25 <i>PrintNormalAsync</i> メソッド	56
2.3.26 <i>GetVersionCode</i> メソッド	57
2.3.27 <i>GetVersionName</i> メソッド	58
2.3.28 <i>WatermarkPrintAsync</i> メソッド	59
2.3.29 <i>SetPrintCompletedTimeout</i> メソッド	60
2.3.30 <i>SetLog</i> メソッド	61
2.3.31 <i>PageModeArea</i> プロパティ	62
2.3.32 <i>PageModePrintArea</i> プロパティ	63
2.3.33 <i>PageModePrintDirection</i> プロパティ	64
2.3.34 <i>PageModeHorizontalPosition</i> プロパティ	65
2.3.35 <i>PageModeVerticalPosition</i> プロパティ	66
2.3.36 <i>RecLineSpacing</i> プロパティ	67
2.3.37 <i>MapMode</i> プロパティ	68

2.4. 補足.....	69
2.4.1 印刷完了確認機能について.....	69
2.4.2 ログ機能について.....	69
2.4.3 UTF-8 エンコード文字列の印刷について.....	70
2.4.4 JIS 第3、第4水準漢字の印刷について.....	71
2.4.5 定数定義一覧.....	72
3. ラインディスプレイ制御.....	75
3.1. プログラム構造	75
3.2. 機能一覧	76
3.3. ライブラリインターフェース	77
3.3.1 戻り値	77
3.3.2 コンストラクタ.....	78
3.3.3 ConnectAsync メソッド.....	79
3.3.4 DisconnectAsync メソッド.....	80
3.3.5 DisplayTextAsync メソッド.....	81
3.3.6 ClearDisplayAsync メソッド.....	82
3.3.7 BlinkDisplayAsync メソッド.....	83
3.3.8 SetDisplayModeAsync メソッド.....	84
3.3.9 SetDisplayConfigAsync メソッド.....	85
3.3.10 SetCursorPositionAsync メソッド.....	86
3.3.11 MoveCursorAsync メソッド.....	87
3.3.12 SetCursorTypeAsync メソッド.....	88
3.3.13 InitializeDisplayAsync メソッド.....	89
3.3.14 DisplayDataAsync メソッド.....	90
3.3.15 SetEncoding メソッド.....	91
3.3.16 SetCodePageAsync メソッド.....	92
3.3.17 SetInternationalCharacterSetAsync メソッド.....	93
3.3.18 DisplayCheckAsync メソッド.....	94
3.3.19 GetVersionCode メソッド.....	95
3.3.20 GetVersionName メソッド.....	96
3.3.21 SetLog メソッド.....	97
3.4. 補足.....	98
3.4.1 ログ機能について.....	98
3.4.2 定数定義一覧.....	99
4. バーコードスキャナー制御	100
4.1. プログラム構造	100
4.2. 機能一覧	101
4.3. ライブラリインターフェース	102
4.3.1 戻り値	102
4.3.2 コンストラクタ.....	103
4.3.3 ConnectAsync メソッド.....	104
4.3.4 DisconnectAsync メソッド.....	105
4.3.5 GetVersionCode メソッド.....	106
4.3.6 GetVersionName メソッド.....	107
4.3.7 SetLog メソッド.....	108
4.3.3 DataEvent イベント.....	109
4.3.4 StatusUpdateEven イベント	110
4.4. 注意事項	111
4.4.1 ログ機能について.....	111
4.4.2 定数定義一覧.....	112

1. はじめに

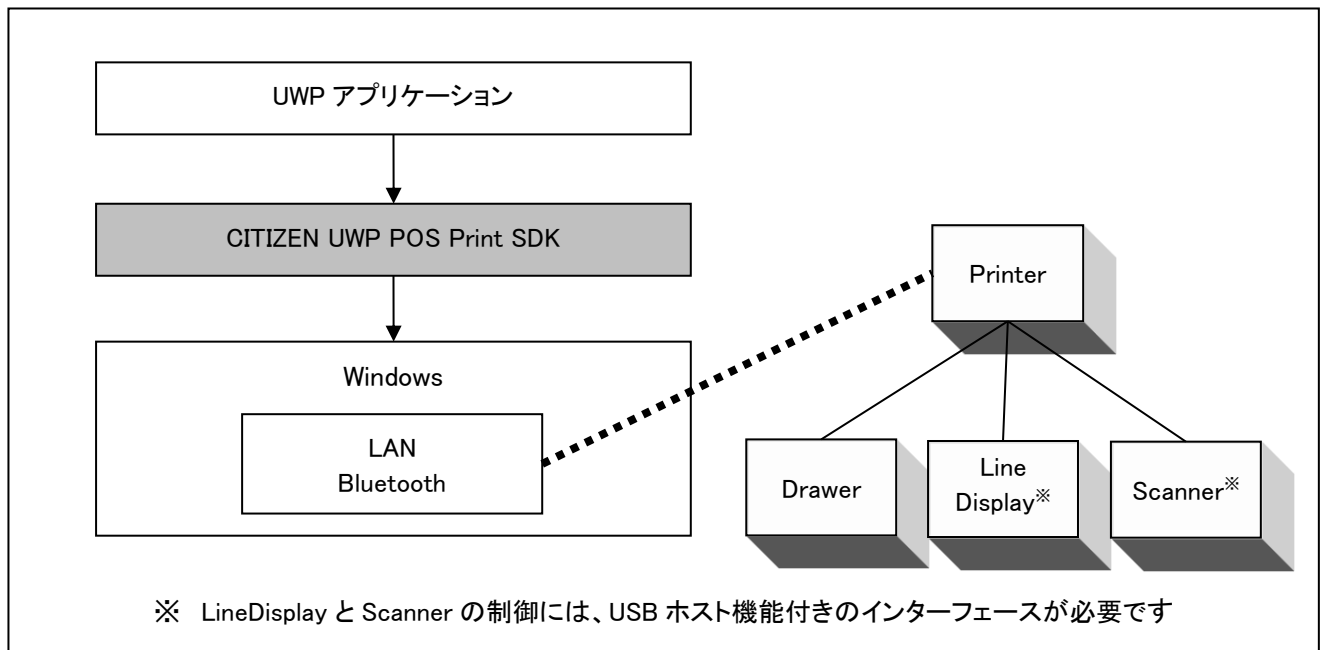
本ドキュメントは、CITIZEN UWP POS Print SDK のプログラムマニュアルです。

1.1. ドキュメント対象範囲

本ドキュメントは、CITIZEN POS プリンターを利用する UWP (Universal Windows Platform) アプリケーションの開発者が参照することを目的としています。

1.2. 動作環境

本 SDK は CITIZEN POS プリンターおよびプリンターに接続された周辺機器を利用する UWP アプリケーションから参照されることを想定しています。



SDK システム構成図

SDK 構成

本 SDK は複数のファイルを含む VSIX インストーラーパッケージが用意されています。ライブラリは Visual Studio がアプリを作成するときなどに自動的に配置します。

対象オペレーティングシステム

本 SDK は、以下の Microsoft Windows オペレーティングシステムに対応しています。

- ・ Windows 10 (32bit、64bit。ARM プロセッサは対象外)

対象開発環境

本 SDK は、以下の統合環境に対応しています。

- ・ Visual Studio 2015 Update1 以降

1.3. 対象モデル(プリンター)

本 SDK の対象モデルおよびそのモデルに対応するインターフェースは以下の通りです。

各モデルの機能詳細についてはプリンターの取扱説明書をご参照ください。

モデル系列	対象モデル	インターフェース	プリンター機能
CT-E301 系	CT-E301	有線 LAN	標準
CT-E601 系	CT-E601	有線/無線 LAN, Bluetooth	標準
CT-S251 系	CT-S251	有線/無線 LAN, Bluetooth	標準
CT-S253 系	CT-S253	有線 LAN	標準
CT-S255 系	CT-S255	有線/無線 LAN, Bluetooth	標準
	CT-S255-L		ブラックマーク紙/ラベル紙対応
CT-S257 系	CT-S257	有線/無線 LAN, Bluetooth	標準
CT-S281 系	CT-S281BT/281BD	Bluetooth	標準
CT-S401 系	CT-S401	有線 LAN	標準
CT-S601/651/ 801/851 系	CT-S601/651/801/851	有線/無線 LAN	標準
	CT-S801/851-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S801-L		ラベル紙対応
CT-S601II/651II/801II/ 851II 系	CT-S601II/651II/801II/851II	有線/無線 LAN, Bluetooth	標準
	CT-S801II/851II-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S801II-L		ラベル紙対応
CT-S801III/851III 系	CT-S801III/851III	有線/無線 LAN, Bluetooth	標準
CT-S2000 系	CT-S2000	有線 LAN	標準
	CT-S2000-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S2000-L		ラベル紙対応
CT-S4000 系	CT-S4000	有線 LAN	標準(表面ブラックマーク紙対応)
	CT-S4000-M		裏面ブラックマーク紙対応
	CT-S4000-L		ラベル紙対応
CT-S4500 系	CT-S4500	有線/無線 LAN, Bluetooth	標準(ラベル/ブラックマーク紙対応)

1.4. プリンター設定

本 SDK をご使用になる際は、プリンターのメモリースイッチ設定が以下の通り設定されていることが条件となります。

CT-E301 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
5-3	USB モード	プリンタクラス
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-4	漢字コード (*2)	SJIS(CP932) GB18030 EUC Hangul BIG5

CT-E601 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-4	漢字コード (*2)	SJIS(CP932) GB18030 EUC Hangul BIG5-HKSCS
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効

CT-S251 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-3	漢字	有効 (*1)
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS (*1)
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効

CT-S253 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
5-3	USB モード	プリンタクラス
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-4	漢字コード (*2)	SJIS(CP932) GB18030 EUC Hangul BIG5

CT-S255 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-4	漢字コード (*2)	SJIS(CP932) GB18030 EUC Hangul BIG5
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効

CT-S257 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-4	漢字コード (*2)	SJIS(CP932) GB18030 EUC Hangul BIG5-HKSCS
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効

CT-S281 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM-270 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-3	漢字	有効 (*1)
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS (*1)
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効

CT-S401 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
5-3	USB モード	プリンタクラス
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-3	漢字	有効 (*1)
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS (*1)

CT-S601/651/801/851 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-3	パラレル 31Pin	リセット
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
5-3	USB モード	プリンタクラス
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-3	漢字	有効 (*1)
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS (*1)

CT-S601II/651II/801II/851II 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-3	パラレル 31Pin	リセット
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
5-3	USB モード	プリンタクラス
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-4	漢字コード (*2)	SJIS(CP932) GB18030 EUC Hangul BIG5
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効

CT-S801III/851III 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-3	パラレル 31Pin	リセット
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
5-3	USB モード	プリンタクラス
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-4	漢字コード (*2)	SJIS(CP932) GB18030 EUC Hangul BIG5
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効

CT-S2000 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-3	パラレル 31Pin	リセット
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-3	漢字	有効 (*1)
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS (*1)

CT-S4000 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-3	パラレル 31Pin	リセット
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-3	漢字	有効 (*1)
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS (*1)

CT-S4500 系 メモリースイッチ設定

MSW No.	機能	設定
1-1	電源 ON 通知設定	有効
1-2	インプットバッファ	4K bytes
1-3	Busy 条件	バッファフル
1-4	受信エラー文字	?文字
1-5	CR モード	無効
2-2	オートカッター動作	有効
2-4	フル桁印字	データ待ち
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効
3-7	CBM1000 互換モード	有効
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰
4-8	強制パーシャル	無効
5-2	縦基本計算ピッチ	360 ドット
6-1	ドライバ用動作	有効
9-1	コードページ	Katakana (*1)
9-2	国際文字	日本 (*1)
9-4	漢字コード (*2)	SJIS(CP932) GB18030 EUC Hangul BIG5-HKSCS
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効

*1 MSW No.9-1～4 は、日本語使用時の設定です。ご使用環境に合わせて変更してください。

*2 CT-E301/601、CT-S253/255/257/601II/651II/801II/851II/801III/851III/4500系は、漢字コードを Shift_JIS、GB18030、EUC-KR、Big5に切り替える事ができます。ご使用の環境に合わせて変更してください。

ファームウェア

CT-S601/651/801/851 系モデルにおいて本 SDK を正常に動作させるには、プリンターのファームウェアバージョンが下記の条件である必要があります。下記プリンターよりも古いプリンターをご使用の際は、ファームウェアをバージョンアップする必要があります。

機種	ファームウェアバージョン
CT-S601	DL00-2000 以降
CT-S651	DM00-2000 以降
CT-S801	DH00-2000 以降
CT-S851	DK00-2000 以降

1.5. 対象モデル(周辺機器)

本 SDK の周辺機器の対象モデルは以下の通りです。

各モデルの機能詳細については周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

周辺機器の制御には、USB ホスト機能付きの Network I/F または Bluetooth I/F が必要です。

ラインディスプレイ

対象モデル	インターフェース	機能
DSP01-LT/DSP01-LT2	USB	TFT 型ラインディスプレイ
DSP02-LS/DSP02-LS2	USB	STN 型ラインディスプレイ

バーコードスキャナー

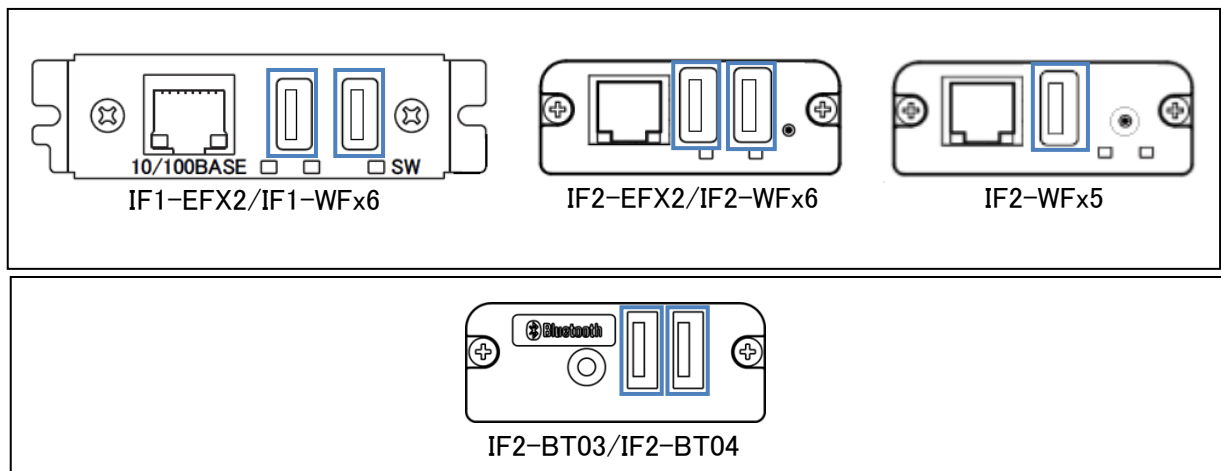
対象モデル	インターフェース	機能
SCN01-Z1D	USB	1 次元バーコードスキャナー
SCN02-Z2D	USB	2 次元バーコードスキャナー
BC-NL3000U	USB	2 次元バーコードスキャナー

本 SDK をご使用になる際は、バーコードスキャナーが以下の通り設定されていることを確認してください。

項目	値	説明
Interface	USB HID Class	通信プロトコル
Keyboard	US Keyboard	キーボード言語
Terminator	Enter	データのサフィックス

プリンターへの接続について

対象周辺機器の接続は、プリンター電源を一旦 OFF にしてから、下図に示すインターフェースの USB 端子に接続してご利用ください。その後、プリンター電源を ON にしてから、対象周辺機器が利用可能になるまで、安定動作のため、周辺機器の制御開始処理を 30 秒ほど待機してから実行してください。



以下は、周辺機器接続に関しての、してはいけない「禁止」内容になります。

禁止事項

- 対応周辺機器以外(USB ハブやスマートフォン等)をインターフェースの USB 端子に接続
- プリンター電源が ON のまま、インターフェースの USB 端子から周辺機器のケーブルを挿抜
- 同種の周辺機器をインターフェースの USB 端子に複数接続 (例:ディスプレイを 2 台接続)

もし、上記事項を実施された場合、プリンターや接続周辺機器について、誤動作を招く原因や、最悪、故障の原因となりますので、おやめください。

Network I/F 設定について

Network I/F にラインディスプレイおよびバーコードスキャナーを使用する場合、サービスに関する設定を変更する必要があります。基本的な操作につきましては、プリンターのインターフェースボード取り扱い説明書をご参照ください。

Web ブラウザーから各プリンターに接続して、以下の Service 画面を表示して下さい。プリンターが提供するサービスの設定を行います。

LAN board CITIZEN SYSTEMS

HOME | STATUS | CONFIG Logout

General **Service** User Account Maintenance

Media Converter

VCOM Convert	<input checked="" type="radio"/> Enable	<input type="radio"/> Disable	<input type="checkbox"/> Show configuration
HID Scanner Convert	<input checked="" type="radio"/> Enable	<input type="radio"/> Disable	<input type="checkbox"/> Show configuration

XML Print

Port Number	8080
Timeout for connect	10 5-60[Seconds]
Timeout for print	60 10-600[Seconds]

XML Device Control

Port Number	8085
Timeout for connect	10 5-180[Seconds]
Maxconnection	2

XML Device Control /Line Display

Baud rate	9600
Data	8 bit

Copyright © 2012 CITIZEN SYSTEMS JAPAN CO.,LTD. All rights reserved.

上記赤枠内を参照に、「VCOM Converter」と「HID Scanner Convert」の Enable を選択します。

その後、最下部までスクロールし「Submit」ボタンを押します。

最後に「Maintenance」タブの「Save&Reboot」ボタンを押し、「Yes」を選択し、プリンターから音が鳴ると設定完了です。

上記赤枠内の「Show configuration」にチェックを入れると「Media Converter Configuration / VCOM Convert」の設定画面が表示されますが、既に対応ディスプレイに対して適切値になっているので、通常利用では変更しないでください。

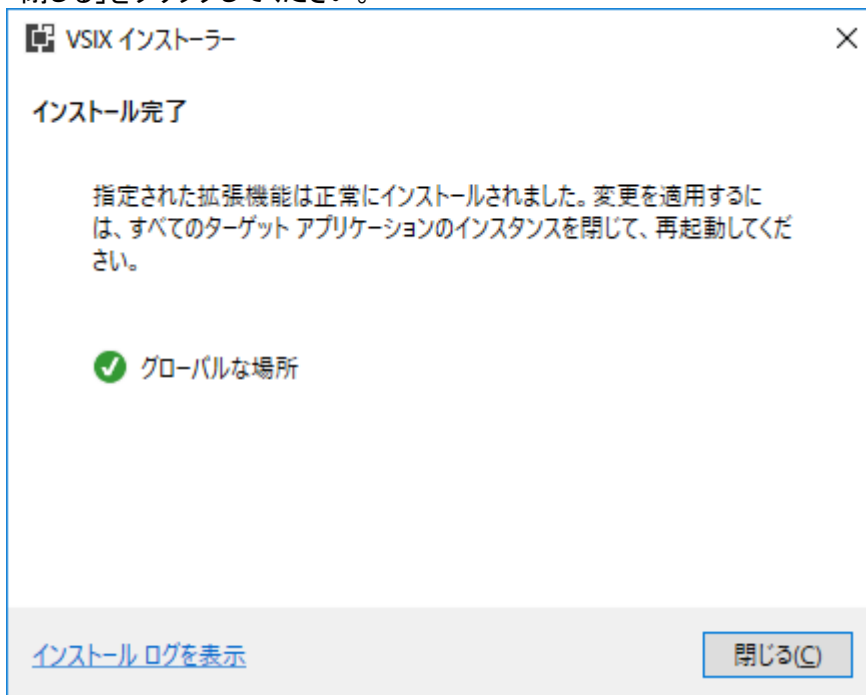
各設定値は、電源を切断しても値を保持します。工場初期設定(Factory Default)の処理が行われた時には、各設定値を初期値に設定します。

1.6.インストール手順

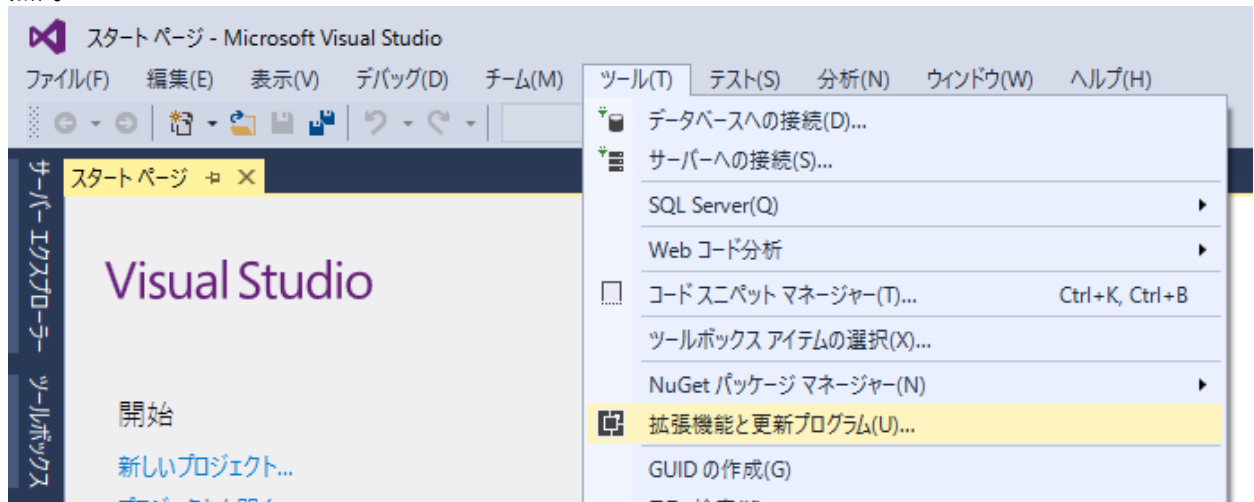
1. Visual Studio を使用中の場合は、終了させてください。
2. CITIZEN_UWP_POS_SDK###.vsix (インストーラー、###はバージョン)を開いてください。
3. 「VSIX インストーラー」ウィンドウ内の「インストール」をクリックしてください。



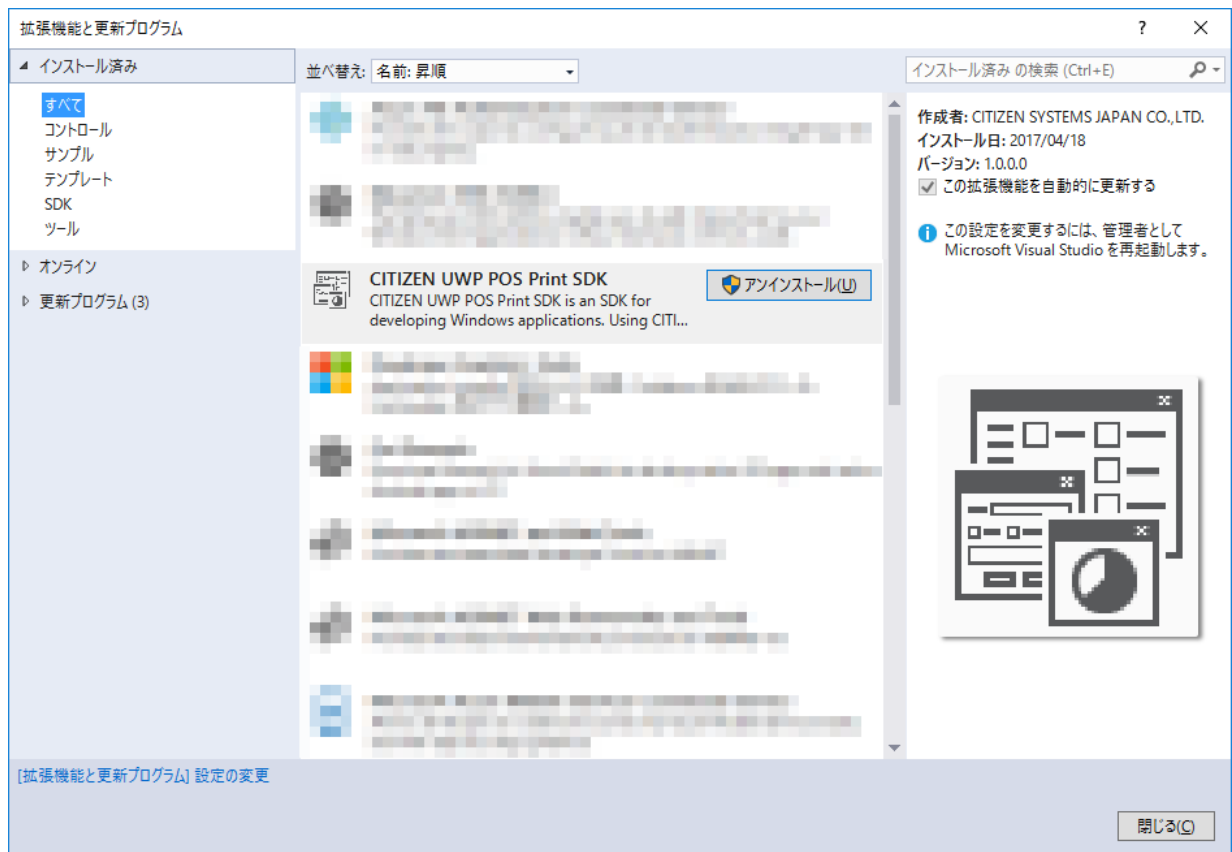
4. 「閉じる」をクリックしてください。



5. Visual Studio を起動し、メニューを「ツール」、「拡張機能と更新プログラム」の順にたどってください(下図参照)。

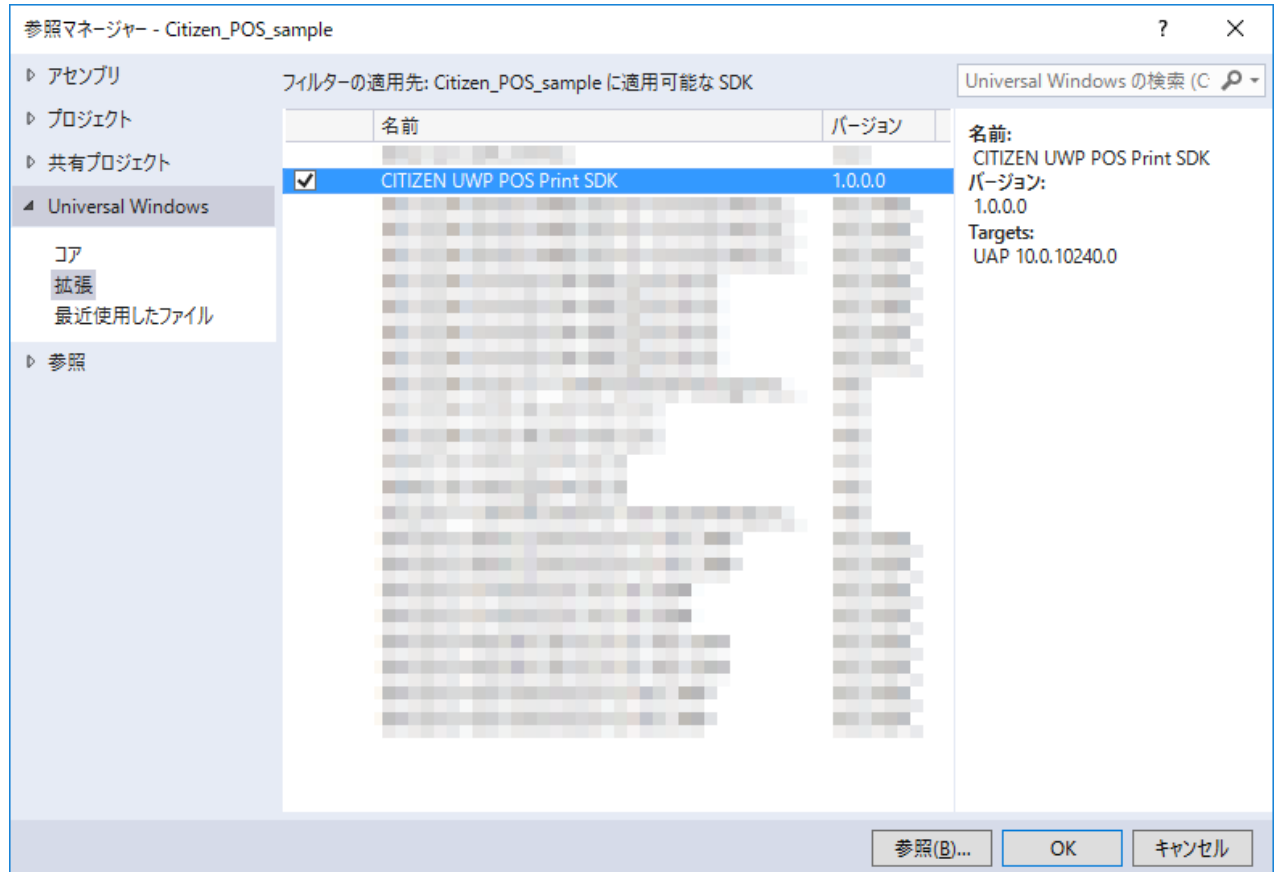


すると、「拡張機能と更新プログラム」ダイアログが表示されます。

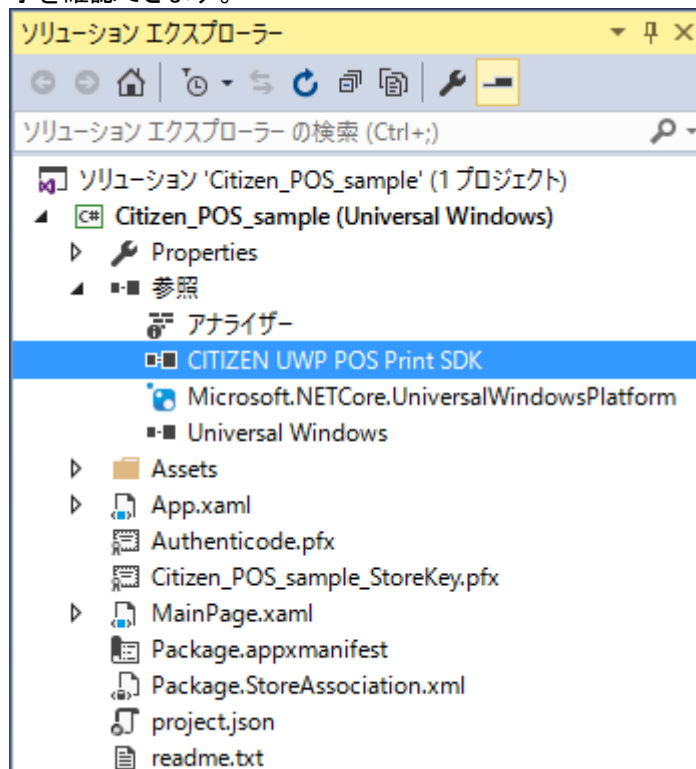


「CITIZEN UWP POS Print SDK」が一覧に表示されていれば、インストール完了です。

この中から「CITIZEN UWP POS Print SDK」にチェックをつけて、OK をクリックしてください。

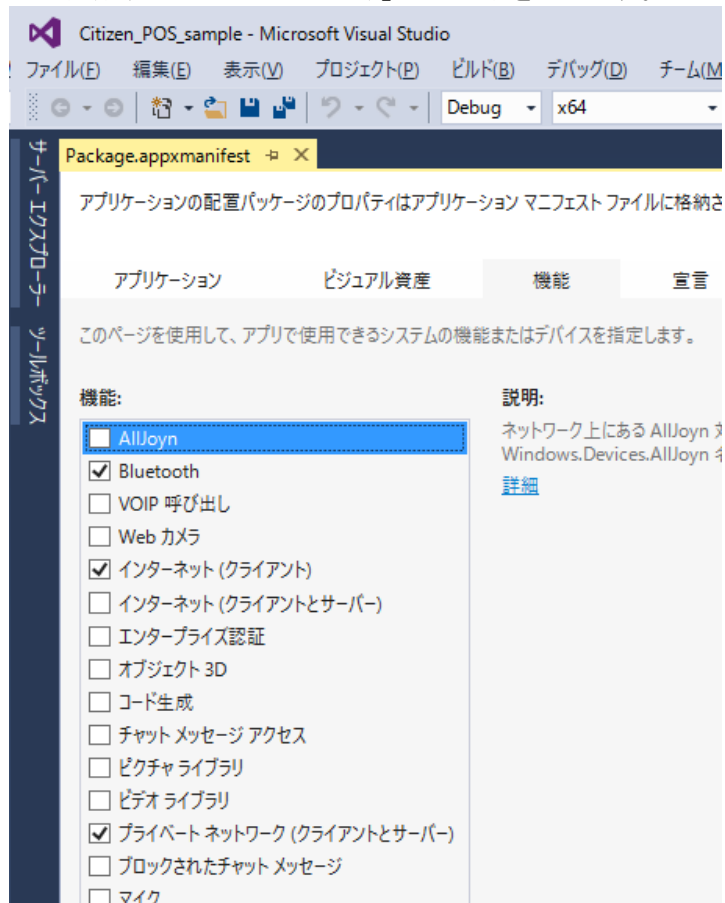


以上で「CITIZEN UWP POS Print SDK」がプロジェクトに登録され、ソリューションエクスプローラーでその様子を確認できます。



機能の設定

ソリューションエクスプローラーの中の Package.appxmanifest ファイルを開き、機能タブを開きます（下図参照）。この中表示されるデバイスの中の「Bluetooth」、「インターネット(クライアント)」、「プライベート ネットワーク(クライアントとサーバー)」にチェックをつけます。



名前空間の定義

本 SDK を使用する場合は、プログラムの先頭で名前空間「com.citizen.sdk」を定義してください。

C#の場合:

```
using com.citizen.sdk;
```

Basic の場合:

```
Imports com.citizen.sdk
```

2. プリンター制御

本 SDK のインターフェースを以下に示します。

2.1. プログラム構造

本 SDK を使用する場合のプログラム構造は、以下の通りです。

<pre>// インスタンス生成 ESCPOSPrinter printer = new ESCPOSPrinter();</pre>	}	クラス定義
<pre>// プリンターへ接続 int result = await printer.ConnectAsync(ESCPOSConst.CMP_PORT_WiFi, "192.168.123.45");</pre>	}	接続処理
<pre>if (ESCPOSConst.CMP_SUCCESS == result) { // エンコード設定 printer.SetEncoding("Shift_JIS"); // 一括処理開始設定 await printer.TransactionPrintAsync(ESCPOSConst.CMP_TP_TRANSACTION); // テキスト印刷 await printer.PrintTextAsync("Citizen_POS_sample1_CS¥n¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_CENTER, ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH ESCPOSConst.CMP_TXT_1HEIGHT); await printer.PrintTextAsync("- Sample Print 1 -¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_CENTER, ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH ESCPOSConst.CMP_TXT_2HEIGHT); await printer.PrintTextAsync("123456789012345678901234567890¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_RIGHT, ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH ESCPOSConst.CMP_TXT_1HEIGHT); // QRCode 印刷 await printer.PrintQRCodeAsync("http://www.citizen-systems.co.jp/", 6, ESCPOSConst.CMP_QRCODE_EC_LEVEL_L, ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_RIGHT); // カット位置紙送り後、パーシャルカット await printer.CutPaperAsync(ESCPOSConst.CMP_CUT_PARTIAL_PREFEED); // 一括処理印刷指定 result = await printer.TransactionPrintAsync(ESCPOSConst.CMP_TP_NORMAL); // 切断処理 await printer.DisconnectAsync(); if (ESCPOSConst.CMP_SUCCESS != result) { // 印刷処理エラー MessageBox msgbox = new MessageBox("Transaction Error : " + result.ToString(), "Citizen_POS_sample1"); await msgbox.ShowAsync(); } } else { // 接続エラー MessageBox msgbox = new MessageBox("Connect Error : " + result.ToString(), "Citizen_POS_sample1"); await msgbox.ShowAsync(); }</pre>	}	印刷処理
<pre></pre>	}	切断処理

2.2. 機能一覧

本 SDK は以下の機能を提供します。

メソッド一覧

No	機能	詳細
1	クラス生成 (コンストラクタ)	コンストラクタです。
2	プリンター接続処理 (ConnectAsync メソッド)	プリンターと接続します。
3	プリンター切断処理 (DisconnectAsync メソッド)	プリンターとの接続を切断します。
4	エンコード設定処理 (SetEncoding メソッド)	エンコードを設定します。
5	プリンター状態確認処理 (PrinterCheckAsync メソッド)	ステータスチェックコマンドを送信します。
6	プリンター状態取得処理 (Status メソッド)	プリンターのステータスを取得します。
7	印字処理 (PrintTextAsync メソッド)	テキストデータを印刷します。
8	ビットマップ印刷処理 (PrintBitmapAsync メソッド)	画像ファイル[BMP/JPG/PNG/GIF ファイル]を印刷します。
9	NV 登録ビットマップ印刷処理 (PrintNVBitmapAsync メソッド)	フラッシュメモリに保存されたビットマップ画像を印刷します。
10	バーコード印刷処理 (PrintBarcodeAsync メソッド)	一次元バーコードを印刷します。
11	PDF-417 印刷処理 (PrintPDF417Async メソッド)	PDF417 バーコードを印刷します。
12	QR コード印刷処理 (PrintQRCodeAsync メソッド)	QRCode バーコードを印刷します。
13	2次元 GS1DataBar 印刷処理 (PrintGS1DataBarStackedAsync メソッド)	2次元 GS1DataBar バーコードを印刷します。
14	用紙カット処理 (CutPaperAsync メソッド)	用紙をカットします。
15	ドット単位紙送り処理 (UnitFeedAsync メソッド)	ドット単位で紙送りします。
16	マーク紙送り処理 (MarkFeedAsync メソッド)	ラベル/ブラックマーク紙用をサポートします。
17	ドロワーオープン処理 (OpenDrawerAsync メソッド)	キャッシュドロワーを開けるコマンドを送信します。
18	一括処理開始/終了処理 (TransactionPrintAsync メソッド)	一括処理モードを開始/終了します。
19	回転印刷処理 (RotatePrintAsync メソッド)	回転方向モード(180度)を開始/終了します。
20	ページモード開始/終了処理 (PageModePrintAsync メソッド)	ページモードを開始/終了します。
21	ページモード印刷領域消去処理 (ClearPrintArea メソッド)	ページモード印刷領域上の印刷データを消去します。
22	出力データクリア処理 (ClearOutputAsync メソッド)	処理中のデータおよびプリンターのバッファをクリアします。
23	データ出力処理 (PrintDataAsync メソッド)	データをそのままプリンターに送信します。
24	OPOS 形式印刷処理 (PrintNormalAsync メソッド)	OPOS エスケープシーケンスを使用してテキストを印刷します。
25	バージョンコード取得 (GetVersionCode メソッド)	SDK のバージョン番号を数値で取得します。
26	バージョン文字列取得 (GetVersionName メソッド)	SDK のバージョン番号を文字列で取得します。

27	透かし印刷開始／終了処理 (WatermarkPrintAsync メソッド)	透かし印刷を開始／終了します。
28	印刷完了確認タイムアウト設定 (SetPrintCompletedTimeout メソッド)	印刷完了通知を確認するタイムアウトを設定します。
29	ログ設定 (SetLog メソッド)	ログ機能を設定します。

プロパティ一覧

No	機能	属性	詳細
1	ページモード領域取得 (PageModeArea プロパティ)	R	使用可能なページモード領域を示します。
2	ページモード印刷領域設定/取得 (PageModePrintArea プロパティ)	R/W	ページモード印刷領域を示します。
3	ページモード印刷方向設定/取得 (PageModePrintDirection プロパティ)	R/W	ページモード印刷領域内の印刷方向を示します。
4	印刷開始水平方向オフセット値設定/取得 (PageModeHorizontalPosition プロパティ)	R/W	ページモード印刷領域内の印刷開始位置の水平方向オフセット値を示します。
5	印刷開始垂直方向オフセット値設定/取得 (PageModeVerticalPosition プロパティ)	R/W	ページモード印刷領域内の印刷開始位置の垂直方向オフセット値を示します。
6	行間設定/取得 (RecLineSpacing プロパティ)	R/W	通常文字の印刷行の高さを示します。
7	マッピングモード設定/取得 (MapMode プロパティ)	R/W	プリンターのマッピングモード(長さの単位)を示します。

2.3. ライブラリインターフェース

本 SDK のインターフェースを以下に示します。

2.3.1 戻り値

以降に示すメソッドは、下記の値を返します。

戻り値	説明
CMP_SUCCESS (0)	正常終了
CMP_E_CONNECTED (1001)	プリンターへ既に接続済みです。
CMP_E_DISCONNECT (1002)	プリンターへ接続していません。
CMP_E_NOTCONNECT (1003)	プリンターへ接続できませんでした。
CMP_E_CONNECT_NOTFOUND (1004)	プリンター接続後の対応機種確認に失敗しました。
CMP_E_CONNECT_OFFLINE (1005)	プリンター接続後のプリンター状態確認に失敗しました。
CMP_E_ILLEGAL (1101)	サポートされていない処理または無効なパラメーター値です。
CMP_E_OFFLINE (1102)	プリンターがオフラインです。
CMP_E_NOEXIST (1103)	指定のファイルが存在しません。
CMP_E_FAILURE (1104)	要求された処理が実行できません。
CMP_E_TIMEOUT (1105)	所定の時間が経過してもプリンターからの応答がありません。
CMP_EPTR_COVER_OPEN (1201)	プリンターのカバーが開いています。
CMP_EPTR_REC_EMPTY (1202)	用紙切れです。
CMP_EPTR_BADFORMAT (1203)	指定されたファイルの書式がサポートされていません。
CMP_EPTR_TOOBIG (1204)	指定されたビットマップのサイズが大きすぎます。

2.3.2 コンストラクタ

形式

ESCPOSPrinter ()

パラメータ

ありません。

説明

ライブラリのコンストラクタです。インスタンスを生成します。

戻り値

ありません。

使用例

```
ESCPOSPrinter printer = new ESCPOSPrinter();
```

2.3.3 ConnectAsync メソッド

形式

- 1) Task<int> ConnectAsync (int connectType, string addr)
- 2) Task<int> ConnectAsync (int connectType, string addr, int port)
- 3) Task<int> ConnectAsync (int connectType, string addr, int port, int timeout)

パラメーター

パラメーターの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
connectType	[IN]	接続タイプ	CMP_PORT_WiFi CMP_PORT_Bluetooth
addr	[IN]	接続先の IP アドレス、 または Bluetooth デバイスアドレス	WiFi : 0.0.0.0～255.255.255.255 Bluetooth : 00:00:00:00:00:00～FF:FF:FF:FF:FF:FF
Port	[IN]	接続先ポート番号	
Timeout	[IN]	タイムアウト (msec)	

説明

このメソッドは、プリンターと接続するために使用します。プリンターの接続タイプとアドレスを指定してください。接続先ポート番号は、接続タイプに CMP_PORT_WiFi を指定した場合のみ有効です。省略された場合は、9100 番で接続します。

タイムアウトは、プリンターへの接続の最大時間(ミリ秒単位)を指定します。省略された場合は、Bluetooth 使用時に 8000 ミリ秒、それ以外の場合は 4000 ミリ秒で接続します。

プリンターと接続した際に、プリンターのステータスと対応機種を同時に確認します。

プリンターとの通信が不要になった場合は、必ず [DisconnectAsync メソッド](#) を実行し、プリンターとの接続を切断してください。切断しなかった場合は、次の接続がエラーとなります。

アプリが初めて Bluetooth プリンターに接続する場合、Windows が接続確認ダイアログを表示させようとする場合があります。このダイアログが表示されている間は、Timeout は無効となります。また、このダイアログに対して「はい」を回答しないと Bluetooth 接続を使用することができません。このダイアログは UI スレッド内でしか表示させることができませんので、ConnectAsync メソッドを動作させる場所は十分ご注意ください。

Visual Studio が作成する Package.appxmanifest ファイルの機能タブ内に「Bluetooth」、「インターネット(クライアント)」や「プライベートネットワーク(クライアントとサーバー)」を設定する箇所があります。ここを正しく設定しないと Windows が通信を遮断します。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。失敗時は下記のエラーコードの説明を確認してください。

それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

エラーコード	説明
CMP_E_NOTCONNECT (1003)	プリンターへ接続できませんでした。 ①プリンターが未接続 ②プリンターの電源が入っていない ③インターフェースポートのハンドルを取得できない ④Manifest でインターフェースの使用が許可されていない ⑤プリンターとペアリングされていない (Bluetooth のみ) ⑥Windows の接続確認に未回答または「いいえ」 (Bluetooth のみ)
CMP_E_CONNECT_NOTFOUND (1004)	プリンター接続後の対応機種確認に失敗しました。 ①対応機種でない
CMP_E_CONNECT_OFFLINE (1005)	プリンター接続後のプリンター状態確認に失敗しました。 プリンターに次のエラーが発生している可能性があります。 ①カバーが開いている

	②用紙が無い ③紙ジャム等によりオートカッターエラーが発生 ④回路故障等による復帰不可能エラーが発生
--	--

使用例

```
await printer.ConnectAsync( ESCPOSConst.CMP_PORT_WiFi, "192.168.123.45" );  
  
await printer.ConnectAsync( ESCPOSConst.CMP_PORT_Bluetooth,  
                             "12:34:56:AB:CD:EF" );
```

2.3.4 DisconnectAsync メソッド

形式

Task<int> DisconnectAsync ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、プリンターとの接続を切断するために使用します。

印刷の終了、あるいは、何らかのエラーが発生した場合は、本メソッドを実行して接続を切断してください。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.DisconnectAsync();
```

2.3.5 SetEncoding メソッド

形式

int SetEncoding (string charset)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
charset	[IN]	文字セット名	サポートされるエンコーディングは、Windows の実装によって異なります。

説明

このメソッドは、プリンター送信データのエンコードを設定するために使用します。

インスタンスを生成時に OS のデフォルト文字セットに初期化します。

エンコードはプリンターのメモリースイッチの設定に合わせて設定してください(「[1.4 プリンター設定](#)」参照)。

本 SDK は、UTF-8 でエンコードされた文字列の印刷をサポートします。詳しくは、「[2.4.3 UTF-8 エンコード文字列の印刷について](#)」を参照してください。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
printer.SetEncoding( "Shift_JIS" );
```

```
printer.SetEncoding( "GB18030" );
```

```
printer.SetEncoding( "EUC-KR" );
```

```
printer.SetEncoding( "Big5" );
```

```
printer.SetEncoding( "UTF-8" );
```


2.3.6 PrinterCheckAsync メソッド

形式

Task<int> PrinterCheckAsync ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、プリンターのステータス取得コマンドを送信するために使用します。

本メソッドの実行結果が成功の場合は、[Status メソッド](#)でプリンターのステータスを取得できます。

本メソッドの実行結果が失敗の場合は、通信異常やデバイスの異常が発生した可能性があります。この場合、[DisconnectAsync メソッド](#)および [ConnectAsync メソッド](#)を使用して再接続してください。

接続後に時間を空けて印刷する場合は、必ず事前に本メソッドと [Status メソッド](#)を実行してプリンターのステータスを確認してください。

ネットワーク接続の場合、長時間放置すると自動的に切断されます。接続を保持する場合は、定期的に本メソッドを実行してください。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
if ( ESCPOSConst.CMP_SUCCESS == await printer.PrinterCheckAsync () ) {  
    // Success  
} else {  
    // Fail  
}
```

2.3.7 Status メソッド

形式

- 1) int Status ()
- 2) int Status (int type)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
type	[IN]	ステータス種類	CMP_STS_PRINTEROFF CMP_STS_PAPER_EMPTY CMP_STS_COVER_OPEN CMP_STS_PAPER_NEAREMPTY CMP_STS_DRAWER_LEVEL_H

説明

このメソッドは、PrinterCheck メソッドによって取得されたプリンターのステータスを確認するために使用します。メソッドの実行前に、[PrinterCheckAsync メソッド](#)を実行する必要があります。引き数が指定されなかった場合は、プリンターのエラーを示すステータス (CMP_STS_COVER_OPEN、CMP_STS_PAPER_EMPTY、CMP_STS_PRINTEROFF) の論理和を返します。ステータス種類が指定された場合は、該当するステータスを返します。ステータス種類は組み合わせて指定できます。組み合わせる場合は論理和を指定してください。

戻り値

下記のステータスコードを返します。

ステータスコード	説明
CMP_STS_NORMAL (0)	プリンターは正常です。
CMP_STS_DRAWER_LEVEL_H (2)	ドロワーキックコネクタ3番ピンの状態が H です。(type 指定時のみ)
CMP_STS_PAPER_NEAREMPTY (4)	ニアエンプティです。(type 指定時のみ)
CMP_STS_COVER_OPEN (16)	プリンターカバーが開いています。
CMP_STS_PAPER_EMPTY (32)	用紙がありません。
CMP_STS_PRINTEROFF (128)	プリンターはオフラインです。

使用例

```
int status = printer.Status();
if ( ESCPOSConst.CMP_STS_NORMAL == status ) {
    // No Error
    int status2 = printer.Status(ESCPOSConst.CMP_STS_PAPER_NEAREMPTY);
    if ( (ESCPOSConst.CMP_STS_PAPER_NEAREMPTY & status2) > 0 ) {
        // Paper Near Empty
    }
} else {
    if ( (ESCPOSConst.CMP_STS_COVER_OPEN & status) > 0 ) {
        // Cover Open
    }
    if ( (ESCPOSConst.CMP_STS_PAPER_EMPTY & status) > 0 ) {
        // Paper Empty
    }
    if ( (ESCPOSConst.CMP_STS_PRINTEROFF & status) > 0 ) {
        // Printer Offline
    }
}
```

```
int status3 = printer.Status(ESCPOSConst.CMP_STS_DRAWER_LEVEL_H);  
if ( (ESCPOSConst.CMP_STS_DRAWER_LEVEL_H & status3) > 0 ) {  
    // Status of pin 3 of drawer kick-out connector = H  
}
```

2.3.8 PrintTextAsync メソッド

形式

Task<int> PrintTextAsync (string data, int alignment, int attribute, int textSize)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
data	[IN]	テキストデータ	
alignment	[IN]	テキスト配置	CMP_ALIGNMENT_LEFT: 左揃え CMP_ALIGNMENT_CENTER: 中央揃え CMP_ALIGNMENT_RIGHT: 右揃え
attribute	[IN]	テキスト属性	CMP_FNT_DEFAULT: 標準フォント CMP_FNT_FONTB: フォント B CMP_FNT_FONTC: フォント C CMP_FNT_BOLD: 太字 CMP_FNT_REVERSE: 反転 CMP_FNT_UNDERLINE: 下線
textSize	[IN]	テキストサイズ	CMP_TXT_1WIDTH: 幅 1 倍 CMP_TXT_2WIDTH: 幅 2 倍 CMP_TXT_3WIDTH: 幅 3 倍 CMP_TXT_4WIDTH: 幅 4 倍 CMP_TXT_5WIDTH: 幅 5 倍 CMP_TXT_6WIDTH: 幅 6 倍 CMP_TXT_7WIDTH: 幅 7 倍 CMP_TXT_8WIDTH: 幅 8 倍 CMP_TXT_1HEIGHT: 高さ 1 倍 CMP_TXT_2HEIGHT: 高さ 2 倍 CMP_TXT_3HEIGHT: 高さ 3 倍 CMP_TXT_4HEIGHT: 高さ 4 倍 CMP_TXT_5HEIGHT: 高さ 5 倍 CMP_TXT_6HEIGHT: 高さ 6 倍 CMP_TXT_7HEIGHT: 高さ 7 倍 CMP_TXT_8HEIGHT: 高さ 8 倍

説明

このメソッドは、テキストの配置、属性、サイズを指定して、テキストを印刷するために使用します。

テキスト属性は、フォント B、フォント C、太字、反転、下線を組み合わせて指定可能です。組み合わせる場合は論理和を指定してください。

テキストサイズは、幅と高さを組み合わせて指定可能です。組み合わせる場合は論理和を指定してください。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.PrintTextAsync( "Print text data.¥n",
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_CENTER,
    ESCPOSConst.CMP_FNT_BOLD | ESCPOSConst.CMP_FNT_UNDERLINE,
    ESCPOSConst.CMP_TXT_2WIDTH | ESCPOSConst.CMP_TXT_2HEIGHT );
```

2.3.9 PrintBitmapAsync メソッド

形式

- 1) Task<int> PrintBitmapAsync (string fileName, int alignment)
- 2) Task<int> PrintBitmapAsync (string fileName, int width, int alignment)
- 3) Task<int> PrintBitmapAsync (string fileName, int width, int alignment, int mode)
- 4) Task<int> PrintBitmapAsync (BitmapDecoder bitmap, int alignment)
- 5) Task<int> PrintBitmapAsync (BitmapDecoder bitmap, int width, int alignment)
- 6) Task<int> PrintBitmapAsync (BitmapDecoder bitmap, int width, int alignment, int mode)
- 7) Task<int> PrintBitmapAsync (byte[] bytes, int alignment)
- 8) Task<int> PrintBitmapAsync (byte[] bytes, int width, int alignment)
- 9) Task<int> PrintBitmapAsync (byte[] bytes, int width, int alignment, int mode)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
fileName	[IN]	ビットマップファイル名	
bitmap	[IN]	ビットマップ型データ	
bytes	[IN]	ビットマップを保持するバイト配列	
width	[IN]	ビットマップ印刷幅	CMP_BM_ASIS: プリンターのドット当たり 1 ビットマップピクセルでビットマップを印刷します。 上記定数以外の 1 以上の値: ビットマップ幅を MapMode プロパティ で定義された単位 (デフォルトはドット単位) で指定します。
alignment	[IN]	ビットマップ配置位置	CMP_ALIGNMENT_LEFT: 左揃え CMP_ALIGNMENT_CENTER: 中央揃え CMP_ALIGNMENT_RIGHT: 右揃え 上記定数以外の 3 以上の値: ビットマップ印刷を開始する左からの距離を MapMode プロパティ で定義された単位 (デフォルトはドット単位) 指定します。
mode	[IN]	ビットマップモード	CMP_BM_MODE_HT_THRESHOLD: ハーフトーン しきい値 CMP_BM_MODE_HT_DITHER: ハーフトーン ディザー CMP_BM_MODE_CMD_RASTER: モノクロ ラスター コマンド出力 CMP_BM_MODE_CMD_BITIMAGE: モノクロ ビットイメージ コマンド出力 CMP_BM_MODE_CMD_GRAY16: グレースケール (16 階調) 出力

説明

このメソッドは、ファイル名あるいはデータ、印刷幅、配置位置、モードを指定して、ビットマップを印刷するために使用します。

印刷可能なビットマップ形式は、BMP/JPG/PNG/GIF/TIFF です。

印刷幅が省略された場合は、CMP_BM_ASIS で印刷します。

モードは、ハーフトーンと出力方法を組み合わせて指定可能です。組み合わせる場合は、論理和を指定してください。モードが省略された場合は、CMP_BM_MODE_HT_THRESHOLD | CMP_BM_MODE_CMD_RASTER で印刷します。モードに関する詳細は、次の通りです。

ハーフトーン ハーフトーン処理方法を指定します。

設定値	説明
CMP_BM_MODE_HT_THRESHOLD	しきい値 文字の印刷に適します。
CMP_BM_MODE_HT_DITHER	ディザー グラフィックの印刷に適します。

出力 出力方法を指定します。

設定値	説明
CMP_BM_MODE_CMD_RASTER	モノクロ ラスター コマンド出力 小さなデータの印刷に適します。データを一括して出力するため、高さ制限(2,304ドット 約 28cm)があります。
CMP_BM_MODE_CMD_BITIMAGE	モノクロ ビットイメージ コマンド出力 大きなデータの印刷に適します。データを分割して出力するため、高さ制限はありません。 CMP-20/30 は利用できません。
CMP_BM_MODE_CMD_GRAY16	グレースケール出力 CT-E601、CT-S251/255/257/601II/651II/801II/851II / 801III/851III 系で利用可能です。より綺麗なグラフィックの印刷が行えます。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.PrintBitmapAsync ( "samplebitmap.bmp",
    ESCPOSConst.CMP_BM_ASIS,
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_CENTER,
    ESCPOSConst.CMP_BM_MODE_HT_DITHER|ESCPOSConst.CMP_BM_MODE_CMD_RASTER );
```

2.3.10 PrintNVBitmapAsync メソッド

形式

Task<int>PrintNVBitmapAsync (int nvImageNumber)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
nvImageNumber	[IN]	プリンターのフラッシュメモリ内に格納されている画像番号	1-20

説明

このメソッドは、プリンターのフラッシュメモリに保存されているビットマップ画像（ロゴ）を印刷するために使用します。

このメソッドを使用するためには、事前にロゴの登録が必要です。ロゴ登録は、プリンター用ユーティリティソフトウェアの「POS プリンターユーティリティ」を使用してください。

「POS プリンターユーティリティ」でロゴを登録する場合は、プリンターのモデルによって、登録モードが異なります。次の通り登録してください。

[CT-S281]

キーコード未使用モードでロゴ登録してください。

使用する画像番号に合わせて、順にロゴ登録する必要があります。

[CT-E301/601、CT-S251/253/255/257/401/601/651/801/851/601II/651II/801II/851II/801III/851III/2000/4000/4500 系]

キーコードモードでロゴ登録してください。

使用する画像番号に合わせて、キーコードを指定して登録する必要があります。

画像番号に対応するキーコードは次の通りです。

画像番号	キーコード（文字列）
1	"01"
2	"02"
3	"03"
⋮	⋮
19	"19"
20	"20"

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.PrintNVBitmapAsync ( 1 );
```

2.3.11 PrintBarcodeAsync メソッド

形式

Task<int> PrintBarcodeAsync (string data, int symbology, int height, int width,
int alignment, int textPosition)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
data	[IN]	印刷するバーコードデータ	
symbology	[IN]	バーコードタイプ	CMP_BCS_UPCA: UPC-A CMP_BCS_UPCE: UPC-E CMP_BCS_EAN8: EAN8(=JAN8) CMP_BCS_JAN8: JAN8(=EAN8) CMP_BCS_EAN13: EAN13(=JAN13) CMP_BCS_JAN13: JAN13(=EAN13) CMP_BCS_ITF: Interleaved 2 of 5 CMP_BCS_Codabar: Codabar CMP_BCS_Code39: コード 39 CMP_BCS_Code93: コード 93 CMP_BCS_Code128: コード 128 CMP_BCS_GS1DATABAR: GS1 DataBar Omnidirectional CMP_BCS_GS1DATABAR_E: GS1 DataBar Expanded CMP_BCS_GS1DATABAR_T: GS1 DataBar Truncated CMP_BCS_GS1DATABAR_L: GS1 DataBar Limited
height	[IN]	バーコード高さ	1～255(ドット単位時) バーコードの高さを MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)で指定します。
width	[IN]	バーコード横サイズ(倍率)	2～6(ドット単位時) バーコードのモジュール幅を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)で指定します。
alignment	[IN]	バーコード配置位置	CMP_ALIGNMENT_LEFT: 左揃え CMP_ALIGNMENT_CENTER: 中央揃え CMP_ALIGNMENT_RIGHT: 右揃え 上記定数以外の 3 以上の値: バーコード印刷を開始する左からの距離を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)指定します。
textPosition	[IN]	可視コード印字位置	CMP_HRI_TEXT_NONE: 印刷しない CMP_HRI_TEXT_ABOVE: バーコードの上 CMP_HRI_TEXT_BELOW: バーコードの下

説明

このメソッドは、一次元バーコードを印刷するために使用します。

GS1 DataBar(CMP_BCS_GS1DATABAR、CMP_BCS_GS1DATABAR_E、CMP_BCS_GS1DATABAR_T、CMP_BCS_GS1DATABAR_L)は、CT- E301/601、CT-S251/253/255/257/401/601/651/801/851/601II/651II

/801II/851II/801III/851III/4500 系のプリンターのみ使用できます。

ページモード中のバーコード配置位置の CMP_ALIGNMENT_CENTER と CMP_ALIGNMENT_RIGHT の指定は無視されます。

註: データには、使える文字種、桁数の制約があったり、Code Set 文字の追加が必要なものがあります。
詳しくは、プリンターのコマンドリファレンスを参照ください。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.PrintBarCodeAsync ( "123456789012",  
    ESCPOSConst.CMP_BCS_UPCA,  
    50,  
    2,  
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,  
    ESCPOSConst.CMP_HRI_TEXT_ABOVE );
```

2.3.12 PrintPDF417Async メソッド

形式

Task<int> PrintPDF417Async (string data, int digits, int steps, int moduleWidth, int stepHeight, int ECLevel, int alignment)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
data	[IN]	印刷データ	
digits	[IN]	桁数	0: 自動 1～30
steps	[IN]	段数	0: 自動 3～90
moduleWidth	[IN]	モジュール幅	2～8(ドット単位時) バーコードのモジュール幅を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)で指定します。
stepHeight	[IN]	段の高さ	2～8
ECLevel	[IN]	エラー訂正レベル	CMP_PDF417_EC_LEVEL_0: レベル 0 CMP_PDF417_EC_LEVEL_1: レベル 1 CMP_PDF417_EC_LEVEL_2: レベル 2 CMP_PDF417_EC_LEVEL_3: レベル 3 CMP_PDF417_EC_LEVEL_4: レベル 4 CMP_PDF417_EC_LEVEL_5: レベル 5 CMP_PDF417_EC_LEVEL_6: レベル 6 CMP_PDF417_EC_LEVEL_7: レベル 7 CMP_PDF417_EC_LEVEL_8: レベル 8
alignment	[IN]	バーコード配置位置	CMP_ALIGNMENT_LEFT: 左揃え CMP_ALIGNMENT_CENTER: 中央揃え CMP_ALIGNMENT_RIGHT: 右揃え 上記定数以外の 3 以上の値: バーコード印刷を開始する左からの距離を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)指定します。

説明

このメソッドは、PDF417 バーコードを印刷するために使用します。

各パラメータの詳細は、各プリンターのコマンドリファレンスを参照してください。

ページモード中のバーコード配置位置の CMP_ALIGNMENT_CENTER と CMP_ALIGNMENT_RIGHT の指定は無視されます。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.PrintPDF417Async (
    "http://www.citizen-systems.co.jp/printer/index.html",
    0, 0, 3, 3,
    ESCPOSConst.CMP_PDF417_EC_LEVEL_0,
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT );
```

2.3.13 PrintQRCodeAsync メソッド

形式

Task<int> PrintQRCodeAsync (string data, int moduleSize, int ECLevel, int alignment)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
data	[IN]	印刷データ	
moduleSize	[IN]	モジュールサイズ	1～16(ドット単位時) バーコードのモジュールサイズを MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)で指定します。
ECLevel	[IN]	エラー修正レベル	CMP_QRCODE_EC_LEVEL_L: レベル L(7%) CMP_QRCODE_EC_LEVEL_M: レベル M(15%) CMP_QRCODE_EC_LEVEL_Q: レベル Q(25%) CMP_QRCODE_EC_LEVEL_H: レベル H(30%)
alignment	[IN]	バーコード配置位置	CMP_ALIGNMENT_LEFT: 左揃え CMP_ALIGNMENT_CENTER: 中央揃え CMP_ALIGNMENT_RIGHT: 右揃え 上記定数以外の 3 以上の値: バーコード印刷を開始する左からの距離を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)指定します。

説明

このメソッドは、QR コードを印刷するために使用します。

各パラメータの詳細は、各プリンターのコマンドリファレンスを参照してください。

ページモード中のバーコード配置位置の CMP_ALIGNMENT_CENTER と CMP_ALIGNMENT_RIGHT の指定は無視されます。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.PrintQRCodeAsync (
    "http://www.citizen-systems.co.jp/printer/index.html",
    4,
    ESCPOSConst.CMP_QRCODE_EC_LEVEL_L,
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT );
```

2.3.14 PrintGS1DataBarStackedAsync メソッド

形式

Task<int> PrintGS1DataBarStackedAsync (string data, int symbology, int moduleSize, int maxSize, int alignment)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
data	[IN]	印刷データ	
symbology	[IN]	バーコードタイプ	CMP_BCS_GS1DATABAR_S: GS1 DataBar Stacked CMP_BCS_GS1DATABAR_E_S: GS1 DataBar Expanded Stacked CMP_BCS_GS1DATABAR_S_O: GS1 DataBar Stacked Omnidirectional
moduleSize	[IN]	モジュール幅	2～8(ドット単位時) バーコードのモジュール幅を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)で指定します。
maxSize	[IN]	最大幅	106～39528(ドット単位時) GS1 DataBar Expanded Stacked の最大幅を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)で指定します。
alignment	[IN]	バーコード配置位置	CMP_ALIGNMENT_LEFT: 左揃え CMP_ALIGNMENT_CENTER: 中央揃え CMP_ALIGNMENT_RIGHT: 右揃え 上記定数以外の 3 以上の値: バーコード印刷を開始する左からの距離を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)指定します。

説明

このメソッドは、2次元の GS1 DataBar を印刷するために使用します。

このメソッドは、CT-E301/601、CT-S251/253/255/257/401/601/651/801/851/601II/651II/801II/851II/801III/851III/4500 系のプリンターのみ使用できます。

各パラメータの詳細は、各プリンターのコマンドリファレンスを参照してください。

ページモード中のバーコード配置位置の CMP_ALIGNMENT_CENTER と CMP_ALIGNMENT_RIGHT の指定は無視されます。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.PrintGS1DataBarStackedAsync(
    "0123456789012",
    ESCPOSConst.CMP_BCS_GS1DATABAR_S,
    4,
    300,
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT );
```

2.3.15 CutPaperAsync メソッド

形式

Task<int> CutPaperAsync (int type)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
type	[IN]	カット種類	CMP_CUT_FULL: フルカット CMP_CUT_PARTIAL: パーシャルカット CMP_CUT_FULL_PREFEED: カット位置紙送り後、フルカット CMP_CUT_PARTIAL_PREFEED: カット位置紙送り後、パーシャルカット

説明

このメソッドは、用紙をカットするために使用します。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.CutPaperAsync ( ESCPOSConst.CMP_CUT_PARTIAL_PREFEED );
```

2.3.16 UnitFeedAsync メソッド

形式

Task<int> UnitFeedAsync (int ufCount)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
ufCount	[IN]	紙送り数	MapMode プロパティ で定義された単位（デフォルトはドット単位）で指定します。

説明

このメソッドは、ドット単位で紙送りするために使用します。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.UnitFeedAsync ( 200 );
```

2.3.17 MarkFeedAsync メソッド

形式

Task<int> MarkFeedAsync (int type)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
type	[IN]	ラベル用紙／ブラックマーク用紙のハンドリングの種類	CMP_MF_TO_CUTTER: 自動カッターのカット位置の上までフィードし、さらにカット CMP_MF_TO_NEXT_TOF: 次の用紙先頭印字位置までフィード

説明

このメソッドは、ラベル用紙／ブラックマーク用紙を利用するために使用します。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.MarkFeedAsync ( ESCPOSConst.CMP_MF_TO_CUTTER );
```

2.3.18 OpenDrawerAsync メソッド

形式

Task<int> OpenDrawerAsync (int drawer, int pulseLen)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
drawer	[IN]	キャッシュドローワー番号	CMP_DRAWER_1: ドローワー1 CMP_DRAWER_2: ドローワー2
pulseLen	[IN]	シグナルの長さ	1～8 (× 100) msec

説明

このメソッドは、プリンターに接続されたキャッシュドローワーをオープンするために使用します。

このメソッドは、プリンターが異常な場合でも処理を実行できます。但し、[TransactionPrint メソッド](#)で一括処理した場合は、プリンター異常時は処理を実行できません。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.OpenDrawerAsync ( ESCPOSConst.CMP_DRAWER_1, 1 );
```


2.3.19 TransactionPrintAsync メソッド

形式

Task<int> TransactionPrintAsync (int control)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
control	[IN]	一括処理を開始／終了を指定	CMP_TP_TRANSACTION: 一括処理の開始 CMP_TP_NORMAL: バッファデータを印刷して一括処理を終了

説明

このメソッドは、一括処理モードを開始または終了するために使用します。

control が CMP_TP_TRANSACTION ならば、一括処理モードに入ります。これ以降のメソッド呼び出しは、印刷データをバッファリングします。一括処理モードに該当するメソッドは以下の通りです。

PrintTextAsync, PrintBitmapAsync, PrintNVBitmapAsync, PrintBarCodeAsync, PrintPDF417Async, PrintQRCodeAsync, PrintGS1DataBarStackedAsync, CutPaperAsync, UnitFeedAsync, MarkFeedAsync, OpenDrawerAsync, RotatePrintAsync, PageModePrintAsync, ClearPrintArea, PrintDataAsync, PrintNormalAsync

control が CMP_TP_NORMAL ならば、一括処理モードを抜けます。データがバッファリングされていたならば、そのデータは印刷されます。一括処理全体は、一つのメッセージとして処理されます。

[ClearOutputAsync メソッド](#)を呼び出すことによって、一括処理モードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.TransactionPrintAsync ( ESCPOSConst.CMP_TP_TRANSACTION );
await printer.PrintNVBitmapAsync ( 1 );
await printer.PrintBarCodeAsync ( "123456789012", ESCPOSConst.CMP_BCS_UPCA,
    50, 2, ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_HRI_TEXT_ABOVE );
await printer.PrintTextAsync ( "Line 1¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH );
await printer.PrintTextAsync ( "Line 2¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH );
await printer.PrintTextAsync ( "Line 3¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH );
await printer.PrintBarCodeAsync ( "123456789012", ESCPOSConst.CMP_BCS_UPCA,
    50, 2, ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_HRI_TEXT_ABOVE );
await printer.PrintNVBitmapAsync ( 1 );
await printer.CutPaperAsync ( ESCPOSConst.CMP_CUT_PARTIAL_PREFEED );
await printer.TransactionPrintAsync ( ESCPOSConst.CMP_TP_NORMAL );
```

2.3.20 RotatePrintAsync メソッド

形式

Task<int> RotatePrintAsync (int rotation)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
rotation	[IN]	回転方向を指定	CMP_RP_ROTATE180: 180 度回転印刷、つまり倒立印字の開始 CMP_RP_BARCODE: 回転バーコード印刷の開始、この値は上記の回転印刷開始の値との論理和 CMP_RP_BITMAP: 回転ビットマップ印刷の開始、この値は上記の回転印刷開始の値との論理和 CMP_RP_NORMAL: 回転印刷の終了

説明

このメソッドは、回転印刷モードを開始または終了するために使用します。

rotation に CMP_RP_ROTATE180 が含まれている場合は、倒立印刷モードに入ります。回転印刷モードに該当するメソッドは以下の通りです。

PrintTextAsync、PrintNormalAsync

更に CMP_RP_BARCODE あるいは CMP_RP_BITMAP が含まれている場合は、次のメソッドも回転して印刷されます。

PrintBarcodAsync、PrintPDF417Async、PrintQRCodeAsync、PrintGS1DataBarStackedAsync あるいは PrintBitmapAsync

rotation が CMP_RP_NORMAL ならば、回転印刷モードを抜けます。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.RotatePrintAsync( ESCPOSConst.CMP_RP_ROTATE180 |
    ESCPOSConst.CMP_RP_BARCODE | ESCPOSConst.CMP_RP_BITMAP );
await printer.PrintBitmapAsync ( "samplebitmap.bmp",
    ESCPOSConst.CMP_BM_ASIS, ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_CENTER );
await printer.PrintBarCodeAsync ( "123456789012", ESCPOSConst.CMP_BCS_UPCA,
    50, 2, ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_HRI_TEXT_ABOVE );
await printer.PrintTextAsync ( "Line 3¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH );
await printer.PrintTextAsync ( "Line 2¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH );
await printer.PrintTextAsync ( "Line 1¥n", ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT, ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH );
await printer.RotatePrintAsync( ESCPOSConst.CMP_RP_NORMAL );
```

2.3.21 PageModePrintAsync メソッド

形式

Task<int> PageModePrintAsync (int control)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
control	[IN]	ページモードコントロール	CMP_PM_PAGE_MODE: ページモードの開始 CMP_PM_PRINT_SAVE: ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを保存 CMP_PM_NORMAL: ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを消去し、ページモードを終了 CMP_PM_CANCEL: ページモード印刷領域の印刷データを消去し、何も印刷せずにページモードを終了

説明

このメソッドは、ページモードを開始または終了するために使用します。

control に CMP_PM_PAGE_MODE を指定した場合、ページモードを開始します。これ以降のメソッド呼び出しは、印刷データをバッファリングします。ページモードで利用可能なメソッドは以下の通りです。

PrintTextAsync, PrintBitmapAsync, PrintBarCodeAsync, PrintPDF417Async, PrintQRCodeAsync, PrintGS1DataBarStackedAsync, PrintNormalAsync

control に CMP_PM_PRINT_SAVE を指定した場合、ページモードが継続します。バッファリングした印刷データがあれば、それを保存して、印刷します。ページモード領域内に印刷データを追加して、同じレイアウトで印刷したい場合に用います。

control に CMP_PM_NORMAL を指定した場合、ページモードを終了し、通常の状態へ遷移します。バッファリングした印刷データがあれば、それを印刷します。バッファリングした印刷データは保存されません。

control に CMP_PM_CANCEL を指定した場合、ページモードを終了し、通常の状態へ遷移します。バッファリングした印刷データがあっても、それらは印刷されず、保存もされません。

PageModePrint メソッドが呼び出された時、[PageModePrintArea プロパティ](#)で定義されたページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、ページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。

複数のページモード印刷領域が定義されていた場合は、それぞれのページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、最も下方に配置されているページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。

ページモード領域全体を 1 つのデータとして送信します。

[ClearOutputAsync メソッド](#)を呼び出すことによって、ページモードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

// 標準的な印刷

```
await printer.PrintNormalAsync ( "¥u001b|2vCSample 2 - Print¥n");
await printer.PrintTextAsync
    ("12345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345
    67890123456789012345678901234567890¥n",
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_RIGHT, ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT,
    ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH | ESCPOSConst.CMP_TXT_1HEIGHT);
```

// ページモードの開始

```
await printer.PageModePrintAsync ( ESCPOSConst.CMP_PM_PAGE_MODE );
```

// ページモードのオフセットの指定

```
printer.SetPageModeVerticalPosition( 0 );
printer.SetPageModeHorizontalPosition( 0 );
```

// ページモードの印刷方向の指定

```
printer.SetPageModePrintDirection( ESCPOSConst.CMP_PD_TOP_TO_BOTTOM );
```

// ページモードの印刷領域の指定

```
printer.SetPageModePrintArea( "308,0,76,800" );
await printer.PrintNormalAsync ( "¥u001b|4C- Receipt -¥n" );
```

// ページモードの印刷領域の指定

```
printer.SetPageModePrintArea( "184,0,120,800" );
await printer.PrintTextAsync ( "    $ 299.99-  ¥n",
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_CENTER, ESCPOSConst.CMP_FNT_UNDERLINE |
    ESCPOSConst.CMP_FNT_BOLD, ESCPOSConst.CMP_TXT_4WIDTH |
    ESCPOSConst.CMP_TXT_4HEIGHT );
```

// ページモードの印刷領域の指定

```
printer.SetPageModePrintArea( "88,0,88,560" );
await printer.PrintTextAsync ( "CITIZEN SYSTEMS¥n",
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_RIGHT, ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT,
    ESCPOSConst.CMP_TXT_2WIDTH | ESCPOSConst.CMP_TXT_3HEIGHT );
```

// ページモードの印刷領域の指定

```
printer.SetPageModePrintArea( "0,0,88,480" );
await printer.PrintBarcodeAsync ( "123456789012", ESCPOSConst.CMP_BCS_UPCA,
    64, 4, ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT,
    ESCPOSConst.CMP_HRI_TEXT_BELOW );
```

// ページモードの印刷領域の指定

```
printer.SetPageModePrintArea( "0,600,192,192" );
await printer.PrintQRCodeAsync ( "http://www.citizen-systems.co.jp/", 5,
    ESCPOSConst.CMP_QRCODE_EC_LEVEL_L,
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT );
```

// ページモードの終了

```
await printer.PageModePrintAsync ( ESCPOSConst.CMP_PM_NORMAL );
```

印刷イメージ



2.3.22 ClearPrintArea メソッド

形式

int ClearPrintArea ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、[PageModePrintArea プロパティ](#)で定義したページモード印刷領域上の印刷データを消去するために使用します。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
printer.ClearPrintArea();
```

2.3.23 ClearOutputAsync メソッド

形式

Task<int> ClearOutputAsync ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、[TransactionPrintAsync メソッド](#)や [PageModePrintAsync メソッド](#)でバッファリングされている全ての送信データをクリアするために使用します。同時にプリンター上の印刷中データをクリアするコマンドを送信します。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.ClearOutputAsync ();
```

2.3.24 PrintDataAsync メソッド

形式

Task<int> PrintDataAsync (byte[] data)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
data	[IN]	送信データ	

説明

このメソッドは、バイトデータをそのままプリンターに送信するために使用します。

通常は必要ありませんが、プリンターの ESC コマンドを直接送信したい場合に使用。

ご使用の際は、他のメソッドに影響を与えない様に注意する必要があります。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

// ブザーを鳴らす（ブザー対応プリンターが必要です）

```
await printer.PrintDataAsync (new byte[] {0x1b, 0x1e});
```

2.3.25 PrintNormalAsync メソッド

形式

Task<int> PrintNormalAsync (string data)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
data	[IN]	印字データ (OPOS エスケープシーケンス対応)	

説明

このメソッドは、OPOS で定義されているエスケープシーケンスを使用して印字する場合に使用します。

OPOS に精通している場合に、ご使用ください。

本 SDK で対応するエスケープシーケンスは、下記の通りです。

詳細は OPOS の仕様書を参照ください。

エスケープシーケンス		注意事項
用紙カット	ESC #P	パーシャルカット(1-99)、フルカット(0,100)
フィードと用紙カット	ESC #fP	パーシャルカット(1-99)、フルカット(0,100)
ビットマップ印刷	ESC #B	1-20(プリンターに登録された Bitmap 番号を指定) Bitmap 印字後の印字位置は初期状態(左寄せ)にもどります
複数行フィード	ESC #IF	
単位フィード	ESC #uF	
バーコード印刷	ESC #R	
フォントタイプ指定	ESC #fT	
ボールド	ESC bC	
アンダーライン	ESC #uC	
カスタムカラー	ESC #rC	専用の 2 色紙を使用時のみ有効
赤色	ESC rC	専用の 2 色紙を使用時のみ有効
反転文字	ESC rvC	
縦横 1 倍角	ESC 1C	
横倍角	ESC 2C	
縦倍角	ESC 3C	
縦横倍角	ESC 4C	
横倍率	ESC #hC	1-8
縦倍率	ESC #vC	1-8
中央揃え	ESC cA	
右寄せ	ESC rA	
ノーマル	ESC N	

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.PrintNormalAsync ( "¥u001b|4C- Receipt -¥n" );
```


2.3.26 GetVersionCode メソッド

形式

int GetVersionCode ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、SDK のバージョン番号を数値で取得するために使用します。

戻り値

SDK のバージョン番号を数値 (Ver1.00 の場合: 100) で返します。

使用例

```
int vno = printer.GetVersionCode();
```

2.3.27 GetVersionName メソッド

形式

string GetVersionName ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、SDK のバージョン番号を文字列で取得するために使用します。

戻り値

SDK のバージョン番号を文字列 (Ver1.00 の場合: "1.00") で返します。

使用例

```
String vname = printer.GetVersionName();
```

2.3.28 WatermarkPrintAsync メソッド

形式

Task<int> WatermarkPrintAsync (int start, int nvImageNumber, int pass, int feed, int repeat);

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
start	[IN]	開始／終了	CMP_WM_START: 透かし印刷を開始します CMP_WM_STOP: 透かし印刷を終了します。
nvImageNumber	[IN]	プリンターのフラッシュメモリ内に格納されている画像番号	1～20
pass	[IN]	透かし印刷初回開始位置(縦方向)	0～65,535(ドット単位時) 印刷開始位置を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)で指定します。
feed	[IN]	透かし印刷間隔(縦方向)	0～65,535(ドット単位時) 印刷間隔を MapMode プロパティ で定義された単位(デフォルトはドット単位)で指定します。
repeat	[IN]	透かし印刷繰り返し回数	0: 無限 1～65,535: 繰り返し回数

説明

このメソッドは、透かし印刷を行うために使用します。

CT-E601、CT-S251/255/257/601II/651II/801II/851II/801III/851III 系のプリンターで利用可能です。

プリンターのフラッシュメモリに保存されているビットマップ画像を重ねて印刷します。

このメソッドを使用するためには、事前にロゴの登録が必要です。ロゴ登録はプリンター用ユーティリティソフトウェアの「POS プリンターユーティリティ」を使用してください。

CMP_WM_STOP で透かし印刷終了を指定した時は、他の全ての引数は無視されます。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await printer.WatermarkPrintAsync( ESCPOSConst.CMP_WM_START, 1, 0, 0, 0 );
```

2.3.29 SetPrintCompletedTimeout メソッド

形式

int SetPrintCompletedTimeout(int timeout)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
timeout	[IN]	印刷完了通知タイムアウト (msec)	0: タイムアウトを自動調整します。 上記定数以外の 1 以上の値: タイムアウトを msec 単位で指定します。

説明

このメソッドは、印刷完了通知を確認するタイムアウトを設定するために使用します。

タイムアウトは、インスタンス生成時に 0 に初期化します。

0 を指定した場合は、印刷データに合わせてタイムアウトを自動的に調整されます。

1 以上の値を指定した場合は、指定されたタイムアウトに固定されます。

印刷完了確認処理の詳細は、「[2.4.1 印刷完了確認機能について](#)」を参照してください。

戻り値

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

// 自動調整

```
printer.SetPrintCompletedTimeout( 0 );
```

// 90sec 固定

```
printer.SetPrintCompletedTimeout( 90000 );
```

2.3.30 SetLog メソッド

形式

void SetLog (int mode, string path, int maxSize)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
mode	[IN]	ログモード	0 : 記録なし 1 : アクセス履歴の記録 2 : エラーのみ記録
path	[IN]	格納フォルダ	
maxSize	[IN]	ログサイズ	0: サイズ制限なし 1~: 最大サイズ(MB)

説明

このメソッドは、ログ機能を設定するために使用します。ログ機能の詳細は「[2.4.2 ログ機能について](#)」を参照してください。

戻り値

ありません。

使用例

```
printer.SetLog( 1, "Log", 10 );
```

2.3.31 PageModeArea プロパティ

形式

string PageModeArea

属性

Read only

説明

このプロパティは、ページモード印刷領域で設定可能な最大値である、ページ領域を [MapMode プロパティ](#) で定義された単位（デフォルトはドット単位）で保持します。

このプロパティの構成は、カンマ区切りの 2 つの ASCII 数字で構成され、幅と高さの順に列挙します。

ページ領域は、プリンターのハードウェア的な能力で決定されます。

[CT-S251 系]: "432,1662"

[CT-S281 系]: "384,938"

[CT-E301/601,CT-S253/255/257/401/601/651/801/851/601II/651II/801II/851II/801III/851III/2000 系]:
"576,1662"

[CT-S4000/4500 系]: "832,1662"

例えば、文字列が "384,938" であれば、ページモード領域は幅 384 単位、高さ 938 単位です。このページモード領域は、左上隅 (0,0) と右下隅 (383,937) で囲まれる長方形を示します。

このプロパティにアクセスする前に Connect メソッドを完了して下さい。このプロパティは、Connect メソッドで設定されます。

設定方法

なし。

取得方法

string GetPageModeArea()

戻り値として、ページ領域を返します。

2.3.32 PageModePrintArea プロパティ

形式

string PageModePrintArea

属性

Read/Write

説明

このプロパティは、ページモード印刷領域を [MapMode プロパティ](#) で定義された単位（デフォルトはドット単位）で保持します。ページモード印刷領域のサイズは、ページ領域より大きく取ることはできません。

このプロパティは、カンマ区切りの 4 つの ASCII 数字のみで構成され、空白文字を含めることはできません。構成は、始点の水平方向座標、始点の垂直方向座標、水平方向の幅、垂直方向の高さ、の順に列挙します。ページモード印刷領域の右端を超える文字は、次の行に印刷されます。ページモード印刷領域の下端を超える文字と画像は、印刷されません。

例えば文字列が、“50,100,200,400” である場合、ページモード印刷領域の座標は、左上隅（50,100）と右下隅（249,499）で囲まれる長方形を示します。

このプロパティにアクセスする前に Connect メソッドを完了して下さい。このプロパティは、Connect メソッドで “0,0,0,0” に初期化されます。

設定方法

int SetPageModePrintArea (string area)

パラメータに、設定したいプロパティ値を指定してください。

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

取得方法

String GetPageModePrintArea ()

戻り値として、設定されているページモード印刷領域を返します。

2.3.33 PageModePrintDirection プロパティ

形式

int PageModePrintDirection

属性

Read/Write

説明

このプロパティは、現在編集集中のページモード印刷領域内の印刷方向を保持します。値は次の通りです。

値	意味
CMP_PD_LEFT_TO_RIGHT	ページモード印刷領域の左上隅を始点に、左から右方向へ印刷します。通常印刷方向です。
CMP_PD_BOTTOM_TO_TOP	ページモード印刷領域の左下隅を始点に、下から上方向へ印刷します。左 90 度回転印刷です。
CMP_PD_RIGHT_TO_LEFT	ページモード印刷領域の右下隅を始点に、右から左方向へ印刷します。180 度回転印刷です。
CMP_PD_TOP_TO_BOTTOM	ページモード印刷領域の右上隅を始点に、上から下方向へ印刷します。右 90 度回転印刷です。

このプロパティを変更すると、PageModeHorizontalPosition プロパティと PageModeVerticalPosition プロパティで示される印刷開始点の補正方向も変化します。

更にページモード印刷領域を切り替えることで、文字の回転方向を組み合わせたレシートや単票を印刷することができます。

このプロパティにアクセスする前に、Connect メソッドを完了して下さい。このプロパティは、Connect メソッドで CMP_PD_LEFT_TO_RIGHT に初期化されます。

設定方法

int SetPageModePrintDirection (int direction)

パラメータに、設定したいプロパティ値を指定してください。

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

取得方法

int GetPageModePrintDirection ()

戻り値として、設定されているページモード印刷領域の印刷方向を返します。

2.3.34 PageModeHorizontalPosition プロパティ

形式

int PageModeHorizontalPosition

属性

Read/Write

説明

このプロパティは、ページモード印刷領域内の印刷開始位置を水平方向に補正するためのオフセット値を [MapMode プロパティ](#) で定義された単位 (デフォルトはドット単位) で保持します。

水平方向とは、PageModePrintDirection プロパティで設定した印刷方向と同じ方向を指します。

このプロパティは、現在位置ではなくて、最後に指定した水平方向のオフセット値の設定となります。

このプロパティにアクセスする前に、Connect メソッドを完了して下さい。このプロパティは、Connect メソッドでゼロ (0) に初期化されます。

設定方法

int SetPageModeHorizontalPosition (int position)

パラメータに、設定したいプロパティ値を指定してください。

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

取得方法

int GetPageModeHorizontalPosition ()

戻り値として、設定されているページモード印刷領域の水平方向オフセットを返します。

2.3.35 PageModeVerticalPosition プロパティ

形式

int PageModeVerticalPosition

属性

Read/Write

説明

このプロパティは、ページモード印刷領域内の印刷開始位置を垂直方向に補正するためのオフセット値を [MapMode プロパティ](#) で定義された単位 (デフォルトはドット単位) で保持します。

垂直方向とは、PageModePrintDirection プロパティで設定した印刷方向に対して垂直な方向です。

このプロパティは、現在位置ではなくて、最後に指定した垂直方向のオフセット値の設定となります。

このプロパティにアクセスする前に、Connect メソッドを完了して下さい。このプロパティは、Connect メソッドでゼロ (0) に初期化されます。

設定方法

int SetPageModeVerticalPosition (int position)

パラメータに、設定したいプロパティ値を指定してください。

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

取得方法

int GetPageModeVerticalPosition ()

戻り値として、設定されているページモード印刷領域の垂直方向オフセットを返します。

2.3.36 RecLineSpacing プロパティ

形式

int RecLineSpacing

属性

Read/Write

説明

このプロパティは、通常文字の印刷行の高さを [MapMode プロパティ](#) で定義された単位（デフォルトはドット単位）で保持します。すなわち、印字行の高さと行間スペースの高さの両方を加えたものです。

現在の行間の値によっては、縦倍角文字はこの値を超える場合があります。この場合の行間スペースは無しになります。

RecLineSpacing プロパティの影響を受けるメソッドは以下の通りです。

[PrintTextAsync メソッド](#)

[PrintNormalAsync メソッド](#)

このプロパティにアクセスする前に、Connect メソッドを完了して下さい。このプロパティは、Connect メソッドで 34 に初期化されます。

設定方法

int SetRecLineSpacing (int spacing)

パラメータに、設定したいプロパティ値を指定してください。

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

取得方法

int GetRecLineSpacing ()

戻り値として、設定されている通常文字の印刷行の高さを返します。

2.3.37 MapMode プロパティ

形式

int MapMode

属性

Read/Write

説明

このプロパティは、プリンターのマッピングモードを保持します。マッピングモードはメソッドや他のプロパティで
使用されるラインの高さや行間を示す様な尺度の単位を定義します。値は次の通りです。

値	意味
CMP_MM_DOTS	POS プリンタのドット幅
CMP_MM_TWIPS	1 インチの 1/1440
CMP_MM_ENGLISH	0.001 インチ
CMP_MM_METRIC	0.01 ミリメートル

MapMode プロパティの影響を受けるメソッドの引数およびプロパティは以下の通りです。

[PrintBitmapAsync メソッド](#) の width, alignment
[PrintBarcodeAsync メソッド](#) の height, width, alignment
[PrintPDF417Async メソッド](#) の moduleWidth, alignment
[PrintQRCodeAsync メソッド](#) の moduleSize, alignment
[PrintGS1DataBarStackedAsync メソッド](#) の moduleSize, maxSize, alignment
[UnitFeedAsync メソッド](#) の ufCount
[PrintNormalAsync メソッド](#) 内のエスケープシーケンス ESC|#uF の#
[WatermarkPrintAsync メソッド](#) の pass, feed
[PageModeArea プロパティ](#)
[PageModePrintArea プロパティ](#)
[PageModeHorizontalPosition プロパティ](#)
[PageModeVerticalPosition プロパティ](#)
[RecLineSpacing プロパティ](#)

このプロパティにアクセスする前に、ConnectAsync メソッドを完了して下さい。このプロパティは、
ConnectAsync メソッドで CMP_MM_DOTS に初期化されます。

設定方法

int SetMapMode (int mode)

パラメータに、設定したいプロパティ値を指定してください。

成功時は CMP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[2.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

取得方法

int GetMapMode ()

戻り値として、設定されているマッピングモードを返します。

使用例

```
printer.SetMapMode( ESCPOSConst.CMP_MM_DOTS );
await printer.UnitFeedAsync ( 200 );           // 200 ドット紙送り
printer.SetMapMode( ESCPOSConst.CMP_MM_METRIC );
await printer.UnitFeedAsync ( 2500 );          // 25mm 紙送り
```

2.4. 補足

本 SDK の補足事項を以下に示します。

2.4.1 印刷完了確認機能について

本 SDK は、プリンターへのデータ送信後、印刷完了通知を待ち、メソッドの成功／失敗を判断しています。印刷完了確認機能は次のタイミングで処理されます。

- (1) 一括処理 (TransactionPrintAsync メソッド) の完了時
- (2) ページモード (PageModePrintAsync メソッド) の完了時
- (3) 一括処理またはページモードのバッファリング中以外のメソッドのデータ送信時

印刷完了確認機能は、プリンターの応答を待つため時間がかかります。複数のメソッドを連続して印刷する場合は、一括処理 (TransactionPrintAsync メソッド) を使用する事によりスムーズな印刷が可能です。

印刷完了通知を確認するタイムアウトは、印刷データに合わせて自動的に調整されます。

印刷データによっては、毎回タイムアウトエラーが発生する場合があります。その場合は、実際の印刷時間に合わせて [SetPrintCompletedTimeout メソッド](#) でタイムアウトを設定してください。

2.4.2 ログ機能について

本 SDK は、メソッドの実行やプロパティの読み書きを記録するログ機能をサポートしています。ログ機能を設定する際は、[SetLog メソッド](#) を使用するか、次の書式の設定ファイル「CSJPOSLib.cfg」をローカルフォルダーに配置してください。

＜CSJPOSLib.cfg の例＞

```
[LogSetting]      ...セクション名 (固定)
LogMode=1         ...ログモードを指定
LogPath=Log       ...ログファイルを格納する場所をローカルフォルダーからの相対パスで指定
LogMaxSize=10     ...ログファイルの最大サイズを MB 単位で指定
```

設定項目

・ログモード

ログを記録するモードを指定します。

- 0：記録なし
- 1：アクセス履歴の記録
- 2：エラーのみ記録

・格納フォルダ

ログファイルを格納するフォルダを指定します。本設定が指定されていない場合は、ローカルフォルダーに格納されます。

・ログサイズ

ログファイルの最大容量を MB 単位で指定します。0 を指定した場合は容量制限が解除され可能な限り記録されます。

ログファイル名

ログファイルの拡張子は「.log」です。ファイル名は「CSJPOSLib」の後ろに曜日を表す数字が追加されます。曜日は日曜日を 0、月曜日を 1 として 0 から 6 のいずれかの数字が加えられます。

例) CSJPOSLib_1.log

ログファイルが既に存在し、それが当日以外の場合は、古いファイルを削除してからログを記録します。

ログフォーマット

ログ機能は、メソッド、プロパティの日付、時間、結果のアクセス情報を記録します。

```

--- メソッドの例1 (Connect) ---

2019/12/24 13:31:44.138 9636 011 METHOD call   ConnectAsync(0, "192.168.10.100")
2019/12/24 13:31:45.684 9636 011 METHOD result ConnectAsync() -> Success(0)

--- メソッドの例2 (PrintText) ---

2019/12/24 13:31:50.141 9636 011 METHOD call   PrintTextAsync([See below], 1, 1, 0)
-----Parameter Detail-----
Print text 1
Print text 2
-----
2019/12/24 13:31:50.634 9636 011 METHOD result PrintTextAsync() -> Success(0)

--- プロパティの設定例 ---

2019/12/24 13:35:23.021 4488 008 PROPERTY set   RecLineSpacing <- 24 : Success(0)

--- プロパティの参照例 ---

2019/12/24 13:39:29.037 4488 008 PROPERTY get   RecLineSpacing -> 24

```

※ログ機能を使用する場合、全てのメソッドとプロパティのアクセス時にログファイルが更新されますので、SDK の処理が低下してしまうことがあります。

※指定されたフォルダーが存在しない場合には、自動的に作成されます。

※次のような理由などでファイルの書き込みができない場合はログファイルの記録が行われません。このような場合エラーメッセージなどは表示されませんので、ご注意ください。

- ・ローカルフォルダー以下以外の場所を指定した場合
- ・出力先に十分な領域が残っていない場合
- ・書き込み禁止のログファイルがある場合
- ・ファイルやフォルダのアクセス権がない場合
- ・他のアプリケーションがログファイルを使用している場合

2.4.3 UTF-8 エンコード文字列の印刷について

本 SDK は、UTF-8 でエンコードされた文字列の印刷をサポートします。

使用例

```
printer.SetEncoding( "UTF-8" );
```

対応機種

機種	ファームウェアバージョン	制限事項
CT-S251	EM01-0304 以降	※1
CT-S401	DT00-1000 以降 DT10-1100 以降	
CT-S601II	EE00-0200 以降	※2
CT-S651II	EA00-0200 以降	
CT-S801II	ED00-0200 以降	

CT-S851II	DY00-0200 以降	
CT-E301/601	全バージョン	※3
CT-S253/255/257 /801III/851III /4500		

注意

- ※1 プリンタは日本語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語の同時印刷に未対応です。印刷可能な言語はプリンタの各仕向け毎に決められた1つの言語のみとなります。
- ※2 プリンタは日本語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語の同時印刷に未対応です。印刷可能な言語はプリンタの MSW9-4 で指定される1つの言語のみとなります。
- ※3 プリンタは日本語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語の同時印刷に対応します。
複数の言語を印刷する場合、プリンタは MSW9-4 の設定に割り当てられた言語に基づいて、使用する文字を順次検索します。その際、字体、字形、書体が一様とならない場合があります。ご注意ください。

言語と書体 (CT-S253/255 系)

言語	書体
日本語フォント 韓国語フォント	ゴシック体
簡体中国語フォント 繁体中国語フォント	明朝体

言語と書体 (CT-E301/601,CT-S257/4500 系)

言語	書体
日本語フォント 韓国語フォント 簡体中国語フォント 繁体中国語フォント	ゴシック体

2.4.4 JIS 第3、第4水準漢字の印刷について

本 SDK は、JIS 第3、第4水準漢字の印刷をサポートしています。

JIS 第3、第4水準漢字を印刷には、プリンター送信データのエンコードを、“UTF-8”に設定する必要があります。
詳しくは、「[2.4.3 UTF-8 エンコード文字列の印刷について](#)」を参照してください。

使用例

// エンコード設定

```
printer.setEncoding( "UTF-8" );
```

// テキスト印刷

```
await printer.PrintTextAsync ( "啞焰鷗摑麴噓俠頰軀俱繫妍鹼嚙攢繡蔣醬蟬搔瘦¥n",
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT, ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT,
    ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH | ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH );
await printer.PrintTextAsync ( "驪簞墳顛鄧禱瀆吞囊剝潑酸屏并麵萊屢藕蠟汙¥n",
    ESCPOSConst.CMP_ALIGNMENT_LEFT, ESCPOSConst.CMP_FNT_DEFAULT,
    ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH | ESCPOSConst.CMP_TXT_1WIDTH );
```

2.4.5 定数定義一覧

No	項目	定数名	型	値	説明
1	処理結果	CMP_SUCCESS	int	0	正常終了
		CMP_E_CONNECTED	int	1001	接続済み
		CMP_E_DISCONNECT	int	1002	未接続
		CMP_E_NOTCONNECT	int	1003	接続失敗
		CMP_E_CONNECT_NOTFOUND	int	1004	未対応機種
		CMP_E_CONNECT_OFFLINE	int	1005	プリンター状態異常
		CMP_E_ILLEGAL	int	1101	未対応処理または無効パラメータ
		CMP_E_OFFLINE	int	1102	オフライン
		CMP_E_NOEXIST	int	1103	ファイルが存在しない
		CMP_E_FAILURE	int	1104	処理異常
		CMP_E_TIMEOUT	int	1105	書き込みタイムアウト
		CMP_EPTR_COVER_OPEN	int	1201	プリンターのカバーオープン
		CMP_EPTR_REC_EMPTY	int	1202	用紙切れ
		CMP_EPTR_BADFORMAT	int	1203	画像フォーマット異常
		CMP_EPTR_CMP_EPTR_TOOBIG	int	1204	画像サイズが大きすぎる
2	接続インターフェース	CMP_PORT_WiFi	int	0	ネットワーク接続
		CMP_PORT_Bluetooth	int	1	Bluetooth 接続
3	ステータス	CMP_STS_NORMAL	int	0	ステータス正常
		CMP_STS_DRAWER_LEVEL_H	int	2	ドロワーキックコネクタ3番ピン状態 H
		CMP_STS_PAPER_NEAREMPTY	int	4	ニアエンプティ
		CMP_STS_COVER_OPEN	int	16	カバーオープン
		CMP_STS_PAPER_EMPTY	int	32	用紙切れ
		CMP_STS_PRINTEROFF	int	128	オフライン
4	配置	CMP_ALIGNMENT_LEFT	int	0	左揃え
		CMP_ALIGNMENT_CENTER	Int	1	中揃え
		CMP_ALIGNMENT_RIGHT	int	2	右揃え
5	文字属性	CMP_FNT_DEFAULT	int	0	標準フォント
		CMP_FNT_FONTB	int	1	フォント B
		CMP_FNT_FONTC	int	2	フォント C
		CMP_FNT_BOLD	int	8	太字
		CMP_FNT_REVERSE	int	16	反転
		CMP_FNT_UNDERLINE	int	128	下線
6	文字サイズ	CMP_TXT_1WIDTH	int	0	幅 1 倍
		CMP_TXT_2WIDTH	int	16	幅 2 倍
		CMP_TXT_3WIDTH	int	32	幅 3 倍
		CMP_TXT_4WIDTH	int	48	幅 4 倍
		CMP_TXT_5WIDTH	int	64	幅 5 倍
		CMP_TXT_6WIDTH	int	80	幅 6 倍
		CMP_TXT_7WIDTH	int	96	幅 7 倍
		CMP_TXT_8WIDTH	int	112	幅 8 倍
		CMP_TXT_1HEIGHT	int	0	高さ 1 倍
		CMP_TXT_2HEIGHT	int	1	高さ 2 倍
		CMP_TXT_3HEIGHT	int	2	高さ 3 倍
		CMP_TXT_4HEIGHT	int	3	高さ 4 倍
		CMP_TXT_5HEIGHT	int	4	高さ 5 倍
		CMP_TXT_6HEIGHT	int	5	高さ 6 倍

		CMP_TXT_7HEIGHT	int	6	高さ 7 倍
		CMP_TXT_8HEIGHT	int	7	高さ 8 倍
7	サイド	CMP_SIDE_RIGHT	int	0	右側
		CMP_SIDE_LEFT	int	1	左側
8	画像幅	CMP_BM_ASIS	int	-11	1ドット当たり1ピクセル
9	画像モード	CMP_BM_MODE_CMD_RASTER	int	1	モノクロ印刷(ラスタコマンド)
		CMP_BM_MODE_CMD_BITIMAGE	int	2	モノクロ印刷(ビットイメージコマンド)
		CMP_BM_MODE_CMD_MONO	int	8	モノクロ登録
		CMP_BM_MODE_CMD_GRAY16	int	8	グレースケール印刷/登録
		CMP_BM_MODE_HT_THRESHOLD	int	16	ハーフトーン(しきい値)
		CMP_BM_MODE_HT_DITHER	int	32	ハーフトーン(ディザー)
10	バーコード種類	CMP_BCS_UPCA	int	101	UPC-A
		CMP_BCS_UPCE	int	102	UPC-E
		CMP_BCS_EAN8	int	103	EAN8
		CMP_BCS_EAN13	int	104	EAN13
		CMP_BCS_JAN8	int	105	JAN8
		CMP_BCS_JAN13	int	106	JAN13
		CMP_BCS_ITF	int	107	Interleaved 2 of 5
		CMP_BCS_Codabar	int	108	Codabar
		CMP_BCS_Code39	int	109	Code39
		CMP_BCS_Code93	int	110	Code93
		CMP_BCS_Code128	int	111	Code128
		CMP_BCS_GS1DATABAR	int	131	GS1 DataBar Omnidirectional
		CMP_BCS_GS1DATABAR_E	int	132	GS1 DataBar Expanded
		CMP_BCS_GS1DATABAR_S	int	133	GS1 DataBar Stacked
		CMP_BCS_GS1DATABAR_E_S	int	134	GS1 DataBar Expanded Stacked
		CMP_BCS_GS1DATABAR_T	int	135	GS1 DataBar Truncated
		CMP_BCS_GS1DATABAR_L	int	136	GS1 DataBar Limited
		CMP_BCS_GS1DATABAR_S_O	int	137	GS1 DataBar Stacked Omnidirectional
11	可視コード	CMP_HRI_TEXT_NONE	int	0	なし
		CMP_HRI_TEXT_ABOVE	int	1	バーコードの上
		CMP_HRI_TEXT_BELOW	int	2	バーコードの下
12	エラー修正レベル(PDF417)	CMP_PDF417_EC_LEVEL_0	int	48	レベル 0
		CMP_PDF417_EC_LEVEL_1	int	49	レベル 1
		CMP_PDF417_EC_LEVEL_2	int	50	レベル 2
		CMP_PDF417_EC_LEVEL_3	int	51	レベル 3
		CMP_PDF417_EC_LEVEL_4	int	52	レベル 4
		CMP_PDF417_EC_LEVEL_5	int	53	レベル 5
		CMP_PDF417_EC_LEVEL_6	int	54	レベル 6
		CMP_PDF417_EC_LEVEL_7	int	55	レベル 7
		CMP_PDF417_EC_LEVEL_8	int	56	レベル 8
13	エラー修正レベル(QR Code)	CMP_QRCODE_EC_LEVEL_L	int	48	レベル L(7%)
		CMP_QRCODE_EC_LEVEL_M	int	49	レベル M(15%)
		CMP_QRCODE_EC_LEVEL_Q	int	50	レベル Q(25%)
		CMP_QRCODE_EC_LEVEL_H	int	51	レベル H(30%)
14	カット種類	CMP_CUT_FULL	int	-1	フルカット
		CMP_CUT_PARTIAL	int	-2	パーシャルカット
		CMP_CUT_FULL_PREFEED	int	-3	カット位置送り後フルカット
		CMP_CUT_PARTIAL_PREFEED	int	-4	カット位置送り後パーシャルカット

15	マークフィード 種類	CMP_MF_TO_CUTTER	int	2	フィードしてカット
		CMP_MF_TO_NEXT_TOF	int	8	次の用紙までフィード
16	ドロワー番号	CMP_DRAWER_1	int	1	ドロワー1
		CMP_DRAWER_2	int	2	ドロワー2
17	一括処理 コントロール	CMP_TP_TRANSACTION	int	11	一括処理の開始
		CMP_TP_NORMAL	int	12	一括処理の印刷
18	回転方向 コントロール	CMP_RT_NORMAL	int	0x0001	回転印刷の終了
		CMP_RT_ROTATE180	int	0x0103	倒立印刷の開始
		CMP_RP_BARCODE	int	0x1000	バーコード回転の開始
		CMP_RP_BITMAP	int	0x2000	画像回転の開始
19	ページモード コントロール	CMP_PM_PAGE_MODE	int	1	ページモードの開始
		CMP_PM_PRINT_SAVE	int	2	印刷とデータ保持
		CMP_PM_NORMAL	int	3	印刷とページモード終了
		CMP_PM_CANCEL	int	4	ページモードキャンセル
20	ページモード 印刷方向	CMP_PD_LEFT_TO_RIGHT	int	1	通常印刷方向
		CMP_PD_BOTTOM_TO_TOP	int	2	左 90 度回転印刷
		CMP_PD_RIGHT_TO_LEFT	int	3	180 度回転印刷
		CMP_PD_TOP_TO_BOTTOM	int	4	右 90 度回転印刷
21	透かし印刷 コントロール	CMP_WM_STOP	int	0	透かし印刷の終了
		CMP_WM_START	int	1	透かし印刷の開始
22	マップモード 種類	CMP_MM_DOTS	int	1	POS プリンターのドット幅
		CMP_MM_TWIPS	int	2	1 インチの 1/1440
		CMP_MM_ENGLISH	int	3	0.001 インチ
		CMP_MM_METRIC	int	4	0.01 ミリメートル

3. ラインディスプレイ制御

3.1. プログラム構造

本 SDK を使用する場合のプログラム構造は、以下の通りです。

<pre>// インスタンス生成 LineDisplay display = new LineDisplay(); // ディスプレイへ接続 int result = await display.ConnectAsync(LineDisplayConst.CDP_PORT_WiFi, "192.168.0.10"); if (LineDisplayConst.CDP_SUCCESS == result) { // エンコード設定 display.SetEncoding("Shift_JIS"); // 文字を消去 await display.ClearDisplayAsync(); // テキスト表示 await display.DisplayTextAsync("123456"); // カーソルの位置指定 await display.SetCursorPosotionAsync(1,2); // テキスト表示 (反転) await display.DisplayTextAsync("123456",true); // 切断処理 await display.DisconnectAsync(); } else { // 接続エラー MessageDialog msgbox = new MessageDialog("Transaction Error : " + result.ToString(), "Citizen_POS_sample1"); await msgbox.ShowAsync(); }</pre>	<div style="margin-bottom: 10px;">} クラス定義</div> <div style="margin-bottom: 10px;">} 接続処理</div> <div style="margin-bottom: 10px;">} ディスプレイ 処理</div> <div style="margin-bottom: 10px;">} 切断処理</div>
--	---

3.2. 機能一覧

本 SDK は以下の機能を提供します。

メソッド一覧

No	機能	詳細
1	接続 (ConnectAsync メソッド)	ディスプレイと接続します。
2	切断 (DisconnectAsync メソッド)	ディスプレイとの接続を切断します。
3	文字列表示 (DisplayTextAsync メソッド)	文字を表示します。
4	表示クリア (ClearDisplayAsync メソッド)	表示文字を消去します。
5	点滅表示 (BlinkDisplayAsync メソッド)	点滅表示させます。
6	スクリーンモード設定 (SetDisplayModeAsync メソッド)	ディスプレイモードを設定します。
7	ディスプレイ設定 (SetDisplayConfigAsync メソッド)	各種設定を行います。
8	カーソル設定 (SetCursorPositionAsync メソッド)	カーソルの位置指定をします。
9	カーソル移動 (MoveCursorAsync メソッド)	カーソルを移動します。
10	カーソル型の設定 (SetCursorTypeAsync メソッド)	カーソル位置を表示します。
11	初期化 (InitializeDisplayAsync メソッド)	ディスプレイを初期化します。
12	コマンド送信 (DisplayDataAsync メソッド)	コマンドを送信します
13	文字エンコード指定 (SetEncoding メソッド)	文字エンコードを指定します。
14	コードページ指定 (SetCodePageAsync メソッド)	コードページを指定します。
15	国際文字指定 (SetInternationalCharacterSetAsync メソッド)	国際文字を指定します。
16	ディスプレイ状態確認 (DisplayCheckAsync メソッド)	ディスプレイの接続状態を確認します。
17	SDK バージョン番号取得 (GetVersionCode メソッド)	バージョン番号を取得します。
18	SDK バージョン文字列取得 (GetVersionName メソッド)	バージョン文字列を取得します。
19	ログ設定 (SetLog メソッド)	ログ機能を設定します。

3.3. ライブラリインターフェース

本 SDK のインターフェースを以下に示します。

3.3.1 戻り値

以降に示すメソッドは、下記の値を返します。

戻り値	説明
CDP_SUCCESS (0)	正常終了
CDP_E_CONNECTED (1001)	デバイスへ既に接続済みです。
CDP_E_DISCONNECT (1002)	デバイスへ接続していません。
CDP_E_NOTCONNECT (1003)	デバイスへ接続できませんでした。
CDP_E_CONNECT_NOTFOUND (1004)	デバイス接続後の対応機種確認に失敗しました。
CDP_E_CONNECT_OFFLINE (1005)	デバイス接続後のプリンター状態確認に失敗しました。
CDP_E_ILLEGAL (1101)	サポートされていない処理または無効なパラメータ値です。
CDP_E_OFFLINE (1102)	デバイスがオフラインです。
CDP_E_FAILURE (1104)	要求された処理が実行できません。

3.3.2 コンストラクタ

形式

LineDisplay ()

パラメータ

ありません。

説明

ライブラリのコンストラクタです。インスタンスを生成します。

戻り値

ありません。

使用例

```
LineDisplay display = new LineDisplay();
```

3.3.3 ConnectAsync メソッド

形式

- 1) Task<int> ConnectAsync (int connectType, string addr)
- 2) Task<int> ConnectAsync (int connectType, string addr, int port)
- 3) Task<int> ConnectAsync (int connectType, string addr, int port, int timeout)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
connectType	[IN]	接続タイプ	CDP_PORT_WiFi CDP_PORT_Bluetooth
addr	[IN]	接続先の IP アドレス、 または Bluetooth デバイスアドレス	WiFi : 0.0.0.0~255.255.255.255 Bluetooth : 00:00:00:00:00:00~FF:FF:FF:FF:FF:FF
Port	[IN]	接続先ポート番号	
Timeout	[IN]	タイムアウト (msec)	

説明

このメソッドは、プリンターと接続するために使用します。プリンターの接続タイプとアドレスを指定してください。接続先ポート番号は、接続タイプに CDP_PORT_WiFi を指定した場合のみ有効です。省略された場合は、9100 番で接続します。

タイムアウトは、プリンターへの接続の最大時間(ミリ秒単位)を指定します。省略された場合は、Bluetooth 使用時に 8000 ミリ秒、それ以外の場合は 4000 ミリ秒で接続します。

プリンターと接続した際に、プリンターのステータスと対応機種を同時に確認します。

プリンターとの通信が不要になった場合は、必ず [DisconnectAsync メソッド](#) を実行し、プリンターとの接続を切断してください。切断しなかった場合は、次の接続がエラーとなります。

アプリが初めて Bluetooth プリンターに接続する場合、Windows が接続確認ダイアログを表示させようとする場合があります。このダイアログが表示されている間は、Timeout は無効となります。また、このダイアログに対して「はい」を回答しないと Bluetooth 接続を使用することができません。このダイアログは UI スレッド内でしか表示させることができませんので、ConnectAsync メソッドを動作させる場所は十分ご注意ください。

Visual Studio が作成する Package.appxmanifest ファイルの機能タブ内に「Bluetooth」、「インターネット(クライアント)」や「プライベートネットワーク(クライアントとサーバー)」を設定する箇所があります。ここを正しく設定しないと Windows が通信を遮断します。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。失敗時は下記のエラーコードの説明を確認してください。

それ以外のエラーコードは「[3.5.1.戻り値](#)」を参照してください。

エラーコード	説明
CDP_E_NOTCONNECT (1003)	ラインディスプレイへ接続できませんでした。 ①ラインディスプレイが未接続 ②プリンターの電源が入っていない ③インターフェースポートのハンドルを取得できない

使用例

```
await display.ConnectAsync( ESCPOSConst.CDP_PORT_WiFi, "192.168.123.45" );

await display.ConnectAsync( ESCPOSConst.CDP_PORT_Bluetooth,
                            "12:34:56:AB:CD:EF" );
```

3.3.4 DisconnectAsync メソッド

形式

Task<int> DisconnectAsync ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、ラインディスプレイとの接続を切断するために使用します。

ラインディスプレイの終了、あるいは、何らかのエラーが発生した場合は、本メソッドを実行して接続を切断してください。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.DisconnectAsync();
```


3.3.5 DisplayTextAsync メソッド

形式

Task<int> DisplayTextAsync (String data, boolean reverseFlag)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
data	テキストデータ	String
reverseFlag	反転指定フラグ	false: 標準 true: 反転 引数省略時には、false として扱います。

説明

このメソッドは、現在のカーソル位置からテキストを表示するために使用します。
テキスト属性は、反転を指定可能です。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.DisplayTextAsync("Hello, World!");
```

3.3.6 ClearDisplayAsync メソッド

形式

Task<int> ClearDisplayAsync (int displayArea)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
displayArea	消去領域	CDP_AREA_ALL(0): 全領域 CDP_AREA_CURSORLINE(1): カーソル行 引数省略時には、CDP_AREA_ALL として扱います。

説明

このメソッドは、表示中の文字を消去します。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.ClearDisplayAsync (LineDisplayConst.CDP_AREA_ALL);
```

3.3.7 BlinkDisplayAsync メソッド

形式

Task<int> BlinkDisplayAsync (int intervalBlink)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
intervalBlink	点滅間隔(ミリ秒)	0～

説明

このメソッドは、表示画面全体を点滅させます。

点滅間隔(ミリ秒)は、点灯と消灯の間隔を指定します。点滅間隔に、0 を指定すると、点滅は解除されます。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.BlinkDisplayAsync(1000);
```

3.3.8 SetDisplayModeAsync メソッド

形式

Task<int> SetDisplayModeAsync (int displayMode)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
displayMode	ディスプレイモード	CDP_OVERWRITE(1) : 上書きモード CDP_VERTICALSCROLL(2) : 垂直スクロールモード CDP_HORIZONTALSCROLL(3) : 水平スクロールモード

説明

このメソッドは、以下のディスプレイのモードを設定します。

DisplayMode	概要
Overwrite	カーソル位置の文字を上書きし、カーソルを右に移動。 (カーソルが上端右端のときの入力は、カーソルを下端左端に移動、 カーソルが下端右端のときの文字入力は、カーソルを上端左端に移動)
VerticalScroll	カーソルが上端のときのカーソル上移動(または、左端での左移動)で、上端の表示行を下端にスクロール カーソルが下端のときのカーソル下移動(または、右端での右移動)で、下端の表示行を上端にスクロール
HorizontalScroll	カーソルが右端でのカーソル右移動(または、文字入力)で、現在のカーソル行に対して、左方向に文字をスクロール カーソル左端のカーソル左移動で、現在のカーソル行に対して、右方向に文字をスクロール

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.SetDisplayModeAsync(LineDisplayConst.CDP_VERTICALSCROLL);
```

3.3.9 SetDisplayConfigAsync メソッド

形式

Task<int> SetDisplayConfigAsync (int brightness)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
brightness	輝度(%)	0～100

説明

このメソッドは、表示画面の輝度を変更します。

輝度は、数値が大きいほど明るくなります。0を指定すると、画面が消灯します(表示内容は保持されます)。

設定後、表示画面全体の点滅は解除されます。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.SetDisplayConfigAsync(40);
```

3.3.10 SetCursorPositionAsync メソッド

形式

Task<int> SetCursorPositionAsync (int x, int y)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
x	桁位置	1～
y	行位置	1～

説明

このメソッドは、カーソル位置を設定するために使用します。

カーソル位置は、カーソルの移動座標で、桁位置と行位置を指定します。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.SetCursorPositionAsync(1, 2);
```

3.3.11 MoveCursorAsync メソッド

形式

Task<int> MoveCursorAsync (int dx, int dy)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
dx	左右方向移動量	-128～127
dy	上下方向移動量	-128～127

説明

このメソッドは、カーソルを移動するために使用します。

現在のカーソル位置からの移動となります。カーソル移動量は、左右方向移動量(-:左方向, +:右方向)と上下方向移動量(-:上方向, +:下方向)を指定します。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.MoveCursorAsync(2, 0);
```

3.3.12 SetCursorTypeAsync メソッド

形式

Task<int> SetCursorTypeAsync (int cursorType)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

要素	意味	設定可能範囲
cursorType	カーソル型指定	CDP_TYPE_NONE(0): カーソル非表示 CDP_TYPE_UNDERLINE(1): カーソル表示 (省略可能要素, 省略時は TYPE_UNDERLINE)

説明

現在のカーソル位置をディスプレイに表示します。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.SetCursorTypeAsync(LineDisplayConst.CDP_TYPE_UNDERLINE);
```


3.3.13 InitializeDisplayAsync メソッド

形式

Task<int> InitializeDisplayAsync ()

パラメータ

ありません。

説明

デバイスを初期化します。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.InitializeDisplayAsync();
```

3.3.14 DisplayDataAsync メソッド

形式

Task<int> DisplayDataAsync (byte[] data)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

要素	意味	設定可能範囲
data	送信データ	

説明

バイトデータをそのままデバイスに送信するために使用します。

ご使用の際は、他のメソッドに影響を与えない様に注意する必要があります。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

// セルフテスト実行

```
await display.DisplayDataAsync(new byte[] {0x1f, 0x40});
```

3.3.15 SetEncoding メソッド

形式

int SetEncoding (string charset)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
charset	文字セット名	サポートされるエンコーディングは、Windows の実装によって異なります。

説明

このメソッドは、プリンター送信データのエンコードを設定するために使用します。

インスタンスを生成時に OS のデフォルト文字セットに初期化します。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
printer.SetEncoding( "Shift_JIS" );
```

```
printer.SetEncoding( "GB18030" );
```

```
printer.SetEncoding( "EUC-KR" );
```

```
printer.SetEncoding( "Big5" );
```

3.3.16 SetCodePageAsync メソッド

形式

Task<int> SetCodePageAsync (int codePage)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

要素	意味	設定可能範囲
codePage	コードページ指定	0～255

説明

設定値につきましては、利用デバイスのコマンドリファレンス”ESC t” コマンドを参照してください。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.SetCodePageAsync(1);
```

3.3.17 SetInternationalCharactersetErrorAsync メソッド

形式

Task<int> SetInternationalCharactersetErrorAsync (int charactererror)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	意味	設定可能範囲
charactererror	国際文字指定	0～16

説明

以下の国際文字セットを設定します。

Charactererror	国際文字セット	Charactererror	国際文字セット
0	アメリカ	9	ノルウェー
1	フランス	10	デンマーク II
2	ドイツ	11	スペイン II
3	イギリス	12	ラテンアメリカ
4	デンマーク I	13	韓国
5	スウェーデン	14	クロアチア
6	イタリア	15	中国
7	スペイン I	16	ベトナム
8	日本		

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.SetInternationalCharactersetErrorAsync(8);
await display.DisplayTextAsync("Total:¥¥1,010");
```

3.3.18 DisplayCheckAsync メソッド

形式

Task<int> DisplayCheckAsync ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、ディスプレイの接続状態を確認するために使用します。

本メソッドの実行結果が成功の場合は、ラインディスプレイが接続されている事が確認できます。

本メソッドの実行結果が失敗の場合は、通信異常やデバイスの異常が発生した可能性があります。この場合、[DisconnectAsync メソッド](#)および [ConnectAsync メソッド](#)を使用して再接続してください。

ネットワーク接続の場合、長時間放置すると自動的に切断されます。接続を保持する場合は、定期的に本メソッドを実行してください。

戻り値

成功時は CDP_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[3.3.1.戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await display.DisplayCheck();
```

3.3.19 GetVersionCode メソッド

形式

int GetVersionCode ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、SDK のバージョン番号を数値で取得するために使用します。

戻り値

SDK のバージョン番号を数値 (Ver1.00 の場合:100) で取得します。

使用例

```
int vno = display.GetVersionCode();
```

3.3.20 GetVersionName メソッド

形式

String GetVersionName ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、SDK のバージョン番号を数値で取得するために使用します。

戻り値

SDK のバージョン番号を文字列 (Ver1.00 の場合: "1.00") で取得します。

使用例

```
String vname = display.GetVersionName();
```


3.3.21 SetLog メソッド

形式

void SetLog (int mode, string path, int maxSize)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
mode	[IN]	ログモード	0 : 記録なし 1 : アクセス履歴の記録 2 : エラーのみ記録
path	[IN]	格納フォルダ	
maxSize	[IN]	ログサイズ	0: サイズ制限なし 1~: 最大サイズ(MB)

説明

このメソッドは、ログ機能を設定するために使用します。ログ機能の詳細は「[3.4.1 ログ機能について](#)」を参照してください。

戻り値

ありません。

使用例

```
display.SetLog( 1, "Log", 10 );
```

3.4. 補足

3.4.1 ログ機能について

本 SDK は、メソッドの実行やプロパティの読み書きを記録するログ機能をサポートしています。ログ機能を設定する際は、[SetLog メソッド](#)を使用するか、次の書式の設定ファイル「CSJPOSLibD.cfg」をローカルフォルダーに配置してください。

＜CSJPOSLibD.cfg の例＞

[LogSetting]	…セクション名(固定)
LogMode=1	…ログモードを指定
LogPath=Log	…ログファイルを格納する場所をローカルフォルダーからの相対パスで指定
LogMaxSize=10	…ログファイルの最大サイズを MB 単位で指定

設定項目

・ログモード

ログを記録するモードを指定します。

- 0：記録なし
- 1：アクセス履歴の記録
- 2：エラーのみ記録

・格納フォルダ

ログファイルを格納するフォルダを指定します。本設定が指定されていない場合は、ローカルフォルダーに格納されます。

・ログサイズ

ログファイルの最大容量を MB 単位で指定します。0 を指定した場合は容量制限が解除され可能な限り記録されます。

ログファイル名

ログファイルの拡張子は「.log」です。ファイル名は「CSJPOSLibD」の後ろに曜日を表す数字が追加されます。曜日は日曜日を 0、月曜日を 1 として 0 から 6 のいずれかの数字が加えられます。

例) CSJPOSLibD_1.log

ログファイルが既に存在し、それが当日以外の場合は、古いファイルを削除してからログを記録します。

ログフォーマット

ログ機能は、メソッド、プロパティの日付、時間、結果のアクセス情報を記録します。

--- メソッドの例1 (ConnectAsync) ---

```
2019/12/24 13:26:31.857 8028 008 METHOD call   ConnectAsync(0, "192.168.10.100")
2019/12/24 13:26:33.313 8028 008 METHOD result ConnectAsync() -> Success(0)
```

--- メソッドの例2 (DisplayTextAsync) ---

```
2019/12/24 13:26:33.635 8028 008 METHOD call   DisplayTextAsync([See below])
-----Parameter Detail-----
2019/12/24 13:26:33
-----
2019/12/24 13:26:33.706 8028 008 METHOD result DisplayTextAsync() -> Success(0)
```

※ログ機能を使用する場合、全てのメソッドとプロパティのアクセス時にログファイルが更新されますので、SDK の処理が低下してしまうことがあります。

※次のような理由などでファイルの書き込みができない場合はログファイルの記録が行われません。このような場合エラーメッセージなどは表示されませんので、ご注意ください。

- ・ローカルフォルダー以下以外の場所を指定した場合
- ・出力先に十分な領域が残っていない場合
- ・書き込み禁止のログファイルがある場合
- ・ファイルやフォルダのアクセス権がない場合
- ・他のアプリケーションがログファイルを使用している場合

3.4.2 定数定義一覧

No	項目	定数名	型	値	説明
1	処理結果	CDP_SUCCESS	int	0	正常終了
		CDP_E_CONNECTED	int	1001	接続済み
		CDP_E_DISCONNECT	int	1002	未接続
		CDP_E_NOTCONNECT	int	1003	接続失敗
		CDP_E_OFFLINE	int	1005	プリンター状態異常
		CDP_E_ILLEGAL	int	1101	未対応処理または無効パラメータ
		CDP_E_OFFLINE	int	1102	オフライン
		CDP_E_FAILURE	int	1104	処理異常
2	接続インターフェース	CDP_PORT_WiFi	int	0	ネットワーク接続
		CDP_PORT_Bluetooth	int	1	Bluetooth 接続
3	消去領域	CDP_AREA_ALL	int	0	全領域
		CDP_AREA_CURSORLINE	int	1	カーソル行
4	ディスプレイモード	CDP_OVERWRITE	int	1	上書きモード
		CDP_VERTICALSCROLL	int	2	垂直スクロールモード
		CDP_HORIZONTALSCROLL	int	3	水平スクロールモード
5	カーソル型指定	CDP_TYPE_NONE	int	0	カーソル非表示
		CDP_TYPE_UNDERLINE	int	1	カーソル表示

4. バーコードスキャナー制御

4.1. プログラム構造

本 SDK を使用する場合は、以下の通りです。

<pre>// インスタンス生成 Scanner scanner = new Scanner();</pre>	}	クラス定義
<pre>// データイベント定義 void OnDataEvent(byte[] data) { Debug.WriteLine("Data call back: " + Encoding.UTF8.GetString(data)); }</pre>	}	コールバック 処理
<pre>// ステータスイベント定義 void OnStatusUpdateEvent(int status) { Debug.WriteLine("Status update call back: " + status); }</pre>	}	コールバック 処理
<pre>// スキャン開始 void StartScan() { // イベントハンドラ追加 scanner.DataEvent += new DataEventHandler(OnDataEvent); scanner.StatusUpdateEvent += new StatusUpdateEventHandler(OnStatusUpdateEvent); // スキャナー接続 int result = await scanner.ConnectAsync(ScannerConst.CSC_PORT_WiFi, "192.168.0.10"); }</pre>	}	接続処理
<pre>// スキャン終了 void StopScan() { // スキャナー切断 await scanner.DisconnectAsync(); // イベントハンドラ削除 scanner.DataEvent -= new DataEventHandler(OnDataEvent); scanner.StatusUpdateEvent -= new StatusUpdateEventHandler(OnStatusUpdateEvent); }</pre>	}	切断処理

4.2. 機能一覧

本 SDK は以下の機能を提供します。

メソッド一覧

No	機能	詳細
1	接続 (ConnectAsync メソッド)	バーコードスキャナーと接続します。
2	切断 (DisconnectAsync メソッド)	バーコードスキャナーとの接続を切断します。
3	SDK バージョン番号取得 (GetVersionCode メソッド)	バージョン番号を取得します。
4	SDK バージョン文字列取得 (GetVersionName メソッド)	バージョン文字列を取得します。
5	ログ設定 (SetLog メソッド)	ログ機能を設定します。

イベント一覧

No	機能	詳細
1	データ入力 (DataEvent イベント)	バーコードスキャナーのデータ入力を通知します。
2	ステータス変化 (StatusUpdateEvent イベント)	デバイスのステータス変化を通知します。

4.3. ライブラリインターフェース

本 SDK のインターフェースを以下に示します。

4.3.1 戻り値

以降に示すメソッドは、下記の値を返します。

戻り値	説明
CSC_SUCCESS (0)	正常終了
CSC_E_CONNECTED (1001)	デバイスへ既に接続済みです。
CSC_E_DISCONNECT (1002)	デバイスへ接続していません。
CSC_E_NOTCONNECT (1003)	デバイスへ接続できませんでした。
CSC_E_CONNECT_OFFLINE (1005)	デバイス接続後のプリンター状態確認に失敗しました。
CSC_E_ILLEGAL (1101)	サポートされていない処理または無効なパラメータ値です。
CSC_E_OFFLINE (1102)	デバイスがオフラインです。
CSC_E_FAILURE (1104)	要求された処理が実行できません。

4.3.2 コンストラクタ

形式

Scanner ()

パラメータ

ありません。

説明

ライブラリのコンストラクタです。インスタンスを生成します。

戻り値

ありません。

使用例

```
Scanner scanner = new Scanner();
```

4.3.3 ConnectAsync メソッド

形式

- 1) Task<int> ConnectAsync (int connectType, String addr)
- 2) Task<int> ConnectAsync (int connectType, String addr, int port)
- 3) Task<int> ConnectAsync (int connectType, String addr, int port, int timeout)

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
connectType	[IN]	接続タイプ	CSC_PORT_WiFi CSC_PORT_Bluetooth
addr	[IN]	接続先の IP アドレス、 または Bluetooth デバイスアドレス	WiFi : 0.0.0.0～255.255.255.255 Bluetooth : 00:00:00:00:00:00～FF:FF:FF:FF:FF:FF
Port	[IN]	接続先ポート番号	
Timeout	[IN]	タイムアウト (msec)	

説明

このメソッドは、バーコードスキャナーと接続するために使用します。バーコードスキャナーが接続されているプリンターの接続タイプとアドレスを指定してください。

接続先ポート番号は、接続タイプに CSC_PORT_WiFi を指定した場合のみ有効です。省略された場合は、9210 番で接続します。

タイムアウトは、バーコードスキャナーへの接続の最大時間(ミリ秒単位)を指定します。省略された場合は、WiFi 使用時に 4000 ミリ秒で接続します。

バーコードスキャナーとの通信が不要になった場合は、必ず [DisconnectAsync メソッド](#) を実行し、接続を切断してください。切断しなかった場合は、次の接続がエラーとなります。

戻り値

成功時は CSP_SUCCESS(0) を返します。失敗時は下記のエラーコードの説明を確認してください。

それ以外のエラーコードは「[4.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

エラーコード	説明
CSC_E_NOTCONNECT (1003)	バーコードスキャナーへ接続できませんでした。 ①バーコードスキャナーが未接続 ②プリンターの電源が入っていない ③インターフェースポートのハンドルを取得できない

使用例

```
await scanner.ConnectAsync(ScannerConst.CSC_PORT_WiFi, "192.168.0.10");
```


4.3.4 DisconnectAsync メソッド

形式

Task<int> DisconnectAsync ()

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、バーコードスキャナーとの接続を切断するために使用します。

スキャンの終了、あるいは、何らかのエラーが発生した場合は、本メソッドを実行して接続を切断してください。

戻り値

成功時は CSC_SUCCESS(0) を返します。それ以外のエラーコードは「[4.3.1 戻り値](#)」を参照してください。

使用例

```
await scanner.DisconnectAsync();
```

4.3.5 GetVersionCode メソッド

形式

GetVersionCode ()

戻り値

バージョン番号 : Number

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、SDK のバージョン番号を数値で取得するために使用します。

戻り値

SDK のバージョン番号を数値 (Ver1.00 の場合:100) で取得します。

使用例

```
int vno = scanner.GetVersionCode();
```

4.3.6 GetVersionName メソッド

形式

GetVersionName ()

戻り値

バージョン文字列 : String

パラメータ

ありません。

説明

このメソッドは、SDK のバージョン番号を数値で取得するために使用します。

戻り値

SDK のバージョン番号を文字列 (Ver1.00 の場合: “1.00”) で取得します。

使用例

```
String vname = scanner.GetVersionName();
```

4.3.7 SetLog メソッド

形式

```
void SetLog (int mode, String path, int maxSize)
```

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
mode	[IN]	ログモード	0 : 記録なし 1 : アクセス履歴の記録 2 : エラーのみ記録
path	[IN]	格納フォルダ	
maxSize	[IN]	ログサイズ	0: サイズ制限なし 1~: 最大サイズ(MB)

説明

このメソッドは、ログ機能を設定するために使用します。ログ機能の詳細は「[4.4.1 ログ機能について](#)」を参照してください。

戻り値

ありません。

使用例

```
scanner.SetLog( 1, "Log", 10 );
```

4.3.3 DataEvent イベント

形式

```
void DataEventHandler(byte[] data)
```

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
data	[IN]	スキャンデータ	

説明

このイベントは、バーコードスキャナーからのデータ入力を通知します。

イベントハンドラは、バーコードスキャナーがバーコードから読み取った情報として、byte 配列型の引き数を受け取ります。

使用例

```
// イベント定義
```

```
void OnDataEvent(byte[] data)
{
    Debug.WriteLine("Data call back: " + Encoding.UTF8.GetString(data));
}
```

```
// イベントハンドラ追加
```

```
scanner.DataEvent += new DataEventHandler(OnDataEvent);
```

4.3.4 StatusUpdateEven イベント

形式

```
void StatusUpdateEventHandler(int status)
```

パラメータ

パラメータの意味と設定可能な値は以下の通りです。

値	[IN/OUT]	意味	設定可能範囲
status	[IN]	ステータス情報	CSC_SUE_POWER_ONLINE(2001): デバイスはレディ状態 CSC_SUE_POWER_OFF(2002): 通信異常またはプリンターにデバイス が接続されていない

説明

このイベントは、デバイスのステータス変化を通知します。

イベントハンドラは、デバイスのステータス変化の情報として、ステータスを示す int 型の引き数を受け取ります。

使用例

// イベント定義

```
void OnStatusUpdateEvent(int status)
{
    Debug.WriteLine("Status update call back: " + status);
}
```

// イベントハンドラ追加

```
scanner.StatusUpdateEvent +=
    new StatusUpdateEventHandler(OnStatusUpdateEvent);
```

4.4. 注意事項

4.4.1 ログ機能について

本 SDK は、メソッドの実行やイベントの通知を記録するログ機能をサポートしています。ログ機能を設定する際は、[SetLog メソッド](#)を使用するか、次の書式の設定ファイル「CSJPOSLibS.cfg」をローカルフォルダーに配置してください。

<CSJPOSLibS.cfg の例>

```
[LogSetting]          ...セクション名(固定)
LogMode=1             ...ログモードを指定
LogPath=Log           ...ログファイルを格納する場所をローカルフォルダーからの相対パスで指定
LogMaxSize=10         ...ログファイルの最大サイズを MB 単位で指定
```

設定項目

・ログモード

ログを記録するモードを指定します。

- 0：記録なし
- 1：アクセス履歴の記録
- 2：エラーのみ記録

・格納フォルダ

ログファイルを格納するフォルダを指定します。本設定が指定されていない場合は、ローカルフォルダーに格納されます。

・ログサイズ

ログファイルの最大容量を MB 単位で指定します。0 を指定した場合は容量制限が解除され可能な限り記録されます。

ログファイル名

ログファイルの拡張子は「.log」です。ファイル名は「CSJPOSLibS」の後ろに曜日を表す数字が追加されます。曜日は日曜日を 0、月曜日を 1 として 0 から 6 のいずれかの数字が加えられます。

例) CSJPOSLibS_1.log

ログファイルが既に存在し、それが当日以外の場合は、古いファイルを削除してからログを記録します。

ログフォーマット

ログ機能は、メソッド、イベントの日付、時間、結果のアクセス情報を記録します。

--- メソッドの例1 (ConnectAsync) ---

```
2019/12/24 13:26:41.951 8028 008 METHOD call   ConnectAsync(0, "192.168.10.100")
2019/12/24 13:26:43.114 8028 008 METHOD result ConnectAsync() -> Success(0)
```

--- イベントの例 (DataEvent) ---

```
2019/12/24 13:26:49.568 8028 008 EVENT           DataEvent : 31 32 33 34 35 36 37 38 39 30
```

※ログ機能を使用する場合、全てのメソッドとプロパティのアクセス時にログファイルが更新されますので、SDK の処理が低下してしまうことがあります。

※次のような理由などでファイルの書き込みができない場合はログファイルの記録が行われません。このような場合エラーメッセージなどは表示されませんので、ご注意下さい。

- ・ローカルフォルダー以下以外の場所を指定した場合

- ・出力先に十分な領域が残っていない場合
- ・書き込み禁止のログファイルがある場合
- ・ファイルやフォルダのアクセス権がない場合
- ・他のアプリケーションがログファイルを使用している場合

4.4.2 定数定義一覧

No	項目	定数名	型	値	説明
1	処理結果	CSC_SUCCESS	int	0	正常終了
		CSC_E_CONNECTED	int	1001	接続済み
		CSC_E_DISCONNECT	int	1002	未接続
		CSC_E_NOTCONNECT	int	1003	接続失敗
		CSC_E_OFFLINE	int	1005	プリンター状態異常
		CSC_E_ILLEGAL	int	1101	未対応処理または無効パラメータ
		CSC_E_OFFLINE	int	1102	オフライン
		CSC_E_FAILURE	int	1104	処理異常
2	接続インターフェース	CSC_PORT_WiFi	int	0	ネットワーク接続
		CSC_PORT_Bluetooth	int	1	Bluetooth 接続
3	ステータス	CSC_SUE_POWER_ONLINE	int	2001	レディ状態
		CSC_SUE_POWER_OFF	int	2002	通信異常または本体に接続されていない

CITIZEN UWP POS Print SDK プログラムマニュアル

2023/11/21 Ver.2.00 用

シチズン・システムズ株式会社

<https://csj.citizen.co.jp/>